週刊 YEAR BOOK

1997 平成9年

日録20世紀

2|9
平成11年2月9日発行
(毎週1回火曜日発行)
第3巻第5号 通巻97号
平成10年 8月21日第三種郵便物認可
¥560
講談社

海が死ぬ!「ナホトカ号」重油6000キロリットル流出
「たまごっち」「プリクラ」と"つながり願望"
歴史的瞬間! 香港、155年ぶりに返還

「酒鬼薔薇聖斗」の心の闇

▲5月27日午後3時、頭部を切断された土師淳君の遺体が、「タンク山」で発見され、現場検証する兵庫県警捜査員。頭部は、同日早朝、友が丘中学校正門前に放置されていた。 共同通信社（4点とも）

▲神戸市須磨区友が丘の現場付近。写真中央が、土師淳君の遺体が発見された通称「タンク山」。

▲6月6日、郵送されてきた犯行声明文について説明する、神戸新聞社の前川昌夫社会部長。

▲頭部に添えられていた挑戦状（中央）と、神戸新聞社に送られてきた犯行声明文（右）。 読売新聞社

▲10月17日、処分決定の審判のため、神戸家裁に向かう少年Aを乗せたワゴン車。

◎表紙 1月2日、島根県沖でロシア船籍のタンカーが沈没。重油が流出し、沿岸各地では懸命の回収作業が続けられた。 読売新聞社

付近住民だけでなく日本中の親に衝撃が走る
一四歳の少年が神戸市で児童を連続殺傷！
「酒鬼薔薇聖斗」の〝心の闇〟

▲土師淳君の頭部がおかれていた友が丘中学校正門前。不審な乗用車やポリ袋を持つ男など、目撃情報が乱れ飛んだ。 読売新聞社

平成九年六月二八日、「神戸児童連続殺傷事件」の容疑者逮捕のニュースが、日本中を駆けめぐった。犯罪史を塗り替える凶行にいたったのは、被害者の一人と顔見知りだった一四歳のA少年。ぬいぐるみと眠り、愛犬の死に際しては泣きながら薬さがしに奔走した気弱な少年の心が、なぜ、「酒鬼薔薇聖斗」の名で殺人を繰り返すまでに病んでいったのか。

任意同行される息子を絶句して見送った両親

「おっちゃんたちは警察やでぇ。わかってるなぁ――」

神戸市須磨区にある少年A（一四）の家を兵庫県警の刑事が訪れたのは、平成九年六月二八日朝七時すぎ。重工業メーカー技師の父親（四七）と専業主婦の母親（四七）が、何かの間違いだと言いたげな表情を見せる中で、紺のジャージーを着た色白の少年Aは、「うん」と素直に答え、兵庫県警本部に任意同行されていった。

付近住民をパニックにおとしいれ、日本中を震撼させた、あの猟奇殺人事件の容疑者が連行された瞬間だった。

少年Aは、取り調べ開始から約三時間後、「（犯行声明文と学校文集の）筆跡が一致した」と刑事に言われると、泣きながら自白を始めた。そして、五月二四日に「タンク山（竜の山）」で土師淳君（一一）を殺害、頭部を二七日朝、友が丘中学校の正門にさらしただけでなく、二カ月前の三月一六日に、山下彩花ちゃん（一〇＝三月二三日に死亡）の頭部を金槌で殴り、一五分後に別の女児（九＝重傷）の腹部をナイフで刺す「竜が台通り魔事件」の犯行も自供し始めたのである。

一方、次々と押収される証拠品に驚愕したのが、少年Aの両親だった。子ども部屋からは、鞘つきのくり小刀、声明文で「酒鬼薔薇聖斗」を名乗った犯人が描いた風車マークや、犯行内容の記されたノートなどが発見された。天井板をはずす捜査員に、「どうしてですか」と詰め寄った母親は、「息子さんが、淳君の頭部を、いったん天井裏に隠したと言っているんです」と説明されると、その場にへたりこみそうになった（髙山文彦「わが子が『酒鬼薔薇』だと分かった時」＝「新潮45」平成一〇年九月号）。

▲逮捕された少年Aの供述により、「タンク山」のケーブルテレビ・アンテナ基地が、殺害現場であることが判明。 朝日新聞社

詰めかけた報道陣を前に、山下征士兵庫県警捜査一課長が容疑者逮捕の会見を行ったのが六月二八日の午後九時三三分。その瞬間、「黒いゴミ袋を持った三〇代の男」を本命視し続けたマスコミ報道の多くが、誤報の山と化した。

「少年が犯人とわかった当初、優しくて純粋無垢だった彩花と同じ目に遭わせてやりたいと憎みました。私自身、気が狂いそうでした」

娘の彩花ちゃんを亡くした山下京子さん（四二）は、当時の心境をそう語る。

ところが、彼女はその後、笑みを浮かべて臨終を迎えた彩花ちゃんの姿や、大切な妹の死という衝撃を乗り越えようとする長男の姿を通して、憎悪を超えた感情を少年Aに抱き始めることになる。

いらだちや不安を持つ無数の「酒鬼薔薇聖斗」

家のことは妻にまかせがちな父親、教育熱心な母親、二人の弟――少年Aが育ったのは一見、ごく平凡な家庭である。彼は、愛犬をかわいがり、動物のぬいぐるみをベッドに並べて寝るような少年だった。

ところが、母親の躾は厳しく、小学三年生の頃、少年Aは「ひっさつわざの『百たたき』がでます」と折檻の様子を作文に書き、「（お母さんが）見えない」と口走ってひきつけを起こしたりした。

「あれはA少年の、母親への最大の復讐」と逮捕後、地元でささやかれたのも、屈折した母子関係があったからだろう。

「僕にとってお祖母ちゃんだけは大事な存在でした」（検事調書）――心底甘えられる相手は、母親の厳しい叱責から守ってくれる優しい祖母だけだった。

蛙の解剖、猫の虐待を繰り返し、奇行が目立ち始めたのは、祖母が死んだ小学五年生以降。美術の時間にただれた脳のオブジェを作り、悪童グループに加わって「いじめ」などの問題を引き起こす少年Aは、「気味の悪い要注意生徒」と

▲女子児童二人が通り魔に襲われて死傷した、竜が台小学校の通学路。保護者付き添いのもと、集団登校が続けられた。 読売新聞社

付近住民だけでなく日本中の親に衝撃が走る
14歳の少年が神戸市で児童を連続殺傷！

「酒鬼薔薇聖斗」の"心の闇"

して教師に監視され続けた。

ビデオの万引きで捕まった中学二年生の時、母親が周囲に「首謀者を突きとめるべきよ」とエキセントリックに叫んだのは、いつも真っ先に教師からにらまれ、異常者扱いされる息子が不憫だったからに違いない。

平成九年二月一〇日、「神戸連続児童殺傷事件」の端緒とも言える別の通り魔事件（女児二人を殴打）を起こした時、生徒アルバムを見せろと要求した被害者の父親に、友が丘中学は――多くの教師が「少年Aに違いない」とささやき合いながら――「プライバシーにかかわる」として拒否した。優秀校としてのプライドや事なかれ主義も、惨劇を食い止める好機を逃す結果となった。

結局、少年Aは、翌三月の山下彩花ちゃん殺害に続いて、五月二四日には、弟の友達だった淳君を、「向こうの山に亀がいたよ」と誘い、獣道と暗い闇でおおわれた自分の精神世界そのものの「タンク山」へ引き連れていったのである。

逮捕後、関東医療少年院（最長二五歳まで収容）への送致が決定したのは一〇月一七日。精神鑑定書には、本来は女性に向くべき性衝動が、猫殺しで偶然開花し、攻撃性などと結びついておさえきれない殺人衝動へエスカレートしていった病んだ心の様子が書かれている。

「『自分の人生は無価値。生きていてもしようがない』と言っていると知った時、私は憎しみを持ちながらも、少年Aがかわいそうになりました。親も学校も、腫れものに触るようにかかわり、無条件に抱きしめてあげる人がいなかったんだろうと」（山下京子さん）

評論家の芹沢俊介氏も、「少年Aは決して特異な存在ではない」と言う。

「凶悪な少年犯罪は複数犯という既成観念をくつがえし、通常のバラバラ死体なら最後まで隠す頭部を最初にさらしたこの事件は、犯罪史を塗り替えました。にもかかわらず、『うちの子だってやりかねない』と感じた親は大勢いた。爆発寸前のいらだちや不安、妬みを抱えこんだ、無数の『酒鬼薔薇聖斗』が現実にいるんです」

前出の「わが子が『酒鬼薔薇』だと分かった時」に、こんなくだりがある。少年院で落ち着きを取り戻しつつある少年Aが描いた自画像の中に、被害者・淳君に自分が寄り添う構図の絵があった。それは、家族みんなから愛された無垢な淳君への憧れを象徴するように、なんとも清らかで優しい絵なのだという。

「FRIDAY」朝井豊

▲悲しみにくれる土師淳君の両親、守氏（中央）と恵子さん（右）。5月30日の葬儀にて。

再燃した少年法改正論議

「神戸連続児童殺傷事件」などを契機に、凶悪な少年犯罪には厳罰主義でのぞむべきだとする少年法の改正論議が再燃した。そもそも、米国の少年犯罪法にならって日本で「少年法」が制定されたのは昭和23年。少年の保護矯正が前提の現行法では、16歳未満は刑法上の罰則に問われず、犯行の動機や詳細な事実関係についても公開されない。処分も、在宅での保護観察から教護院への送致、少年院移送の3段階である。ちなみに、日本が手本とした米国では1997年7月、14歳以上の少年凶悪犯については、刑事手続きを成人扱いするよう各州に求める法案が可決された。

日本でも現在、法務省や最高裁などが、審判に検察官を出席させて抗告権（不服申立権）を与える、観護措置期間（現在は最大4週間）を延長するといった改正案を検討しているところ。刑事罰の対象年齢についても、中村正三郎法相は16歳から引き下げる方針を明確に打ち出している。

◀「タンク山」に登るのに、土師淳君が利用したコンクリート坂。

「FRIDAY」朝井豊

▶五月二四日、土師淳君は、祖父の家へ行くつもりで外出したまま行方不明に。二六日、須磨署は公開捜査に踏み切った。

「FRIDAY」

「このままでは海が死んでしまう」
一四万人のボランティアが"六〇〇〇キロリットル"と闘った

「ナホトカ号」重油流出！

平成九年一月二日、ロシアの老朽タンカー「ナホトカ号」が、島根県隠岐島沖で沈没。積載していた重油約一万九〇〇〇キロリットルのうち、約六〇〇〇キロリットルが流出した。重油は広範囲の日本海沿岸地方に漂着し、ボランティアによる懸命の回収作業にもかかわらず、カニや岩海苔などに七〇億円にも達する被害を与えたのである。

▲1月2日、島根県隠岐島北方約100キロを航行中のタンカー「ナホトカ号」が、大しけにより沈没。船体からちぎれた船首部が、あてどなく漂流し始めた。 朝日新聞社

吹き飛んだ正月気分 好漁場を重油が汚染

冬の日本海は、しける日が多い。平成九年一月七日、福井県三国町の安島岬には、さかんに「波の花」が打ち上げられていた。「波の花」は、厳冬期の荒れる波濤が作りだす日本海の風物詩だが、この日の「花」はいつもと様子が違っていた。シャボン玉のようにすぐ消える運命なのに、油っ気を含んでいるため、いつまでも消えない。島根県隠岐島沖で沈没した「ナホトカ号」（一万三一五七トン）から流出した重油が、ついにやって来たのだった。

この年一月二日、建造後二六年というロシアの老朽タンカー「ナホトカ号」は、重油約一万九〇〇〇キロリットルを積んで航行中に、突然、船首部が先端から約五〇メートル付近でちぎれて沈没した。現場海域は台風並みの大しけで、舞鶴海洋気象台は事故直後に七・九メートルの波と二一メートルの強風を観測している。翌三日には、沈没現場の南東約九〇キロの海上に船体から脱落した船首部が浮いているのが発見されるとともに、帯状に漂ったり塊になっている重油が確認された。

流出した重油は約六〇〇〇キロリットル。昭和四六年に新潟港でリベリア船籍の「ジュリアナ号」から七二〇〇キロリットルが流出して以来、最大級の事故である。この重油と船首部が、強い北西風や対馬海流の影響を受け、東へ、東へと移動する。

安島岬で最初に重油の漂着を確認したのは、沿岸パトロール中の三国町職員だった。七日の午前九時三五分頃、安島岬の岩場に薄い油が流れ着いているのを見つけた。同じ頃、安島漁港の沖合に浮かぶ雄島の大湊神社社務所では、神主の松村忠祀氏（六一）が屋根裏部屋の窓から双眼鏡で海上の様子をうかがっていた。

「真西の方角に海面から頭をのぞかせた船首が浮かんでいて、それがぐんぐん自分の方に向かってくる。かなり雄島に近づいてきたところで、どういうわけか、くるりとまわって北に方向転換しました。"こりゃ、石川の方へ行くんだな"と、ホッとしました」

ところが、午後になって約四〇メートルの鯨のような形をした船首は、再びUターンする。漁師や住民が不安な表情で見守る中、午後二時三〇分、船首は安島岬沖約二〇〇メートルの岩場に座礁。約二八〇〇キロリットルの重油が残っていたタンクに亀裂が生じたために、新たな流出が始まり、周辺の海岸約六キロにわたって大量の重油が漂着した。このあたりは屈指の海苔の漁場だったが、わずか半日で好漁場は重油におおわれてしまったのである。

◀重油で泥沼のようになった海水につかり、黙々と作業を続けるが、すくってもすくっても一向に減る気配がない。 読売新聞社

スコップやひしゃくで「黒い潮」と格闘する

「このままでは海が死んでしまう」

漁師や海女たちは、自分たちでできることから手をつけた。バケツ、ひしゃく、スコップ、ドラム缶など、身のまわりにある道具を総動員し、人海戦術で重油回収を始めたのである。タール状の重油をスコップやひしゃくですくい取り、バケツリレーでドラム缶まで運ぶ。たちまちカッパや長靴がまっ黒に汚れるが、誰も手を休めるものはいない。

この年の元旦に雄島漁協の組合長になったばかりの梅野茂雄氏（現・六三歳）は、「被害が広がるのをただ見ているわけにもいきませんので、浜に出て油をかき集め始めました。いくらやっても減らなかったが、徹夜でもやりたい気分でした。そんなところにボランティアが来てくれて、本当に助かりました」と語る。

ボランティアたちは、重油が漂着した翌日から三国町に集まりだした。一月一一日には「三国町ボランティア本部」が発足する。ボランティアは平日で七〇〇人、週末ともなると一五〇〇人にもおよ

▶羽にまとわりついた油を、ボランティアに洗い落としてもらうウミスズメ。 読売新聞社

▲流出した重油による汚染地域が広がる中、被害の最も大きい福井県の越前海岸には、多数のボランティアが駆けつけた。1月11日撮影。 朝日新聞社

び、事故発生から一ヵ月間に三国町を含む福井県の沿岸一二市町村には四万三〇〇〇人余が駆けつけた。また、重油が漂着した日本海沿岸のボランティアは、総数で約一四万人にも達している。

救援物資も三国町に集中した。福井県災害対策本部がまとめたところによると、二月一日までにドラム缶二万本、バケツ一万個、ゴム手袋四万四〇〇〇枚などの重油回収用具のほか、ラーメン一万九〇〇〇個、ジュース二万三〇〇〇パック、米四八二五キロなどが送られてきたという。カップラーメンなどはあまりに大量すぎて、ボランティアが宿泊する三国町の区民館は足の踏み場もないほどだった。

懸命の回収作業にもかかわらず、重油の漂着による汚染地域は京都府や石川県など八府県に広がった。しかも、船首部からの重油抜き取り作業が荒天のためにはかどらず、海水まじりの油約二八三一キロリットルがすべて抜き取られたのは二月二五日のことであった。この間に、寒風の中で回収作業にあたったボランティア五人が、疲労などのために生命を落としている。

政府の対応も遅れた。政府が「ナホトカ号海難・流出油災害対策本部」を設置したのは、事故発生からなんと八日後の一月一〇日のことである。三国町の住民やボランティアが油まみれで回収を開始してからも、三日が経過していた。

環境問題に取り組んでいるノンフィクション作家の橋本克彦氏は、「ラッシュ状態の日本の海上では、船舶の衝突などによる大量の油流出や海上火災などが発生する可能性が高いにもかかわらず、それへの対応システムがまったく整っていなかった」と指摘する。

この年の七月二日には、横浜市本牧沖でパナマ船籍のタンカー「ダイヤモンドグレース号」が底触事故を起こし、約一五五〇キロリットルの原油を流出させた。幸い大事にいたらなかったが、同様な事故はいつどこで起きても不思議はないのである。

「ナホトカ号」から流出した重油は、八月末までに約五万九〇〇〇キロリットル（海水、砂などを含む）が回収され、ほぼ作業は終了した。重油回収にかかった費用は約九〇億円、漁業被害は約七〇億円にものぼる。

安島岬の漁場には、いつもの夏と変わらないきれいな海が戻ってきた。

▶座礁から一〇三日ぶりの四月二〇日、船首部が引き揚げられた。広島県江田島町に運ばれ、運輸省が事故原因調査に着手。

女たちの肖像

顔と名前を変え続けて逃亡 時効成立寸前に逮捕された殺人犯・福田和子の"魔性"

稲葉真弓

一五年間も姿をくらましていた「松山市ホステス殺人事件」の容疑者、福田和子（四九）が福井市内で捕まったのは、この年、平成九年七月二九日のこと。時効まであと二〇日という、劇的な幕切れだった。

この一五年間、愛媛県警は福田和子を追い続けていた。が、彼女は天性の勘のよさで捜査の網をくぐり抜け、大阪、金沢、名古屋、福井を転々とし、その間、何度も顔を整形、カメレオンのように"七つの顔"と二十数種類の名前を使い分けていた。さらに「男はカネや」の口癖どおり、行く先々に愛人を作り、一時は金沢市郊外で和菓子屋の女将におさまっていた。セックスを武器にした逃亡生活の内容が明らかになるにつれ、"魔性の女"として世間の話題をさらったが、ここまで長期にわたって逃げ続けた女性犯罪者は史上稀である。

彼女が同僚の安岡厚子さん（当時・三一歳）を殺害したのは、昭和五七年八月一九日のことである。逃亡生活が始まったのはその五日後だが、いったん上京して、同月三〇日、東京・新橋の整形美容外科病院で手術を受けるという大胆さだった。後に同病院は、逮捕協力者に懸賞金を出して話題を呼んだが、ベテラン刑事が「顔だけではない。整形手術で舌を三枚にした」と嘆息したほどたくみな虚言と"甘ったるい色気"で男をだまし、変身を続けていた。

昭和二三年一月、愛媛県松山市で非嫡出子として生まれた彼女は、居酒屋や売春宿を経営する母親のもとで、「色と金」を目のあたりにして育った。高校を二年で中退し、近所に住む一歳年上の少年と同棲。最初の犯罪は、二人で共謀した押しこみ強盗だった。この時、彼女は一七歳。それから三年後、最初の結婚をし二児を産むが、結婚生活は五年で破綻。以後は水商売を転々とし、五〇年、再婚。男児を産みマイホームを取得したものの、主婦の座に飽きたらなくなり、再びホステス業についた。

安岡厚子さんのいた高級クラブにつとめるようになったのは五七年二月頃のことで、五ヵ月後、二度目の犯罪＝殺人に手を染める。それも、夫に死体遺棄を手伝わせ、いとこにも被害者の荷物を運び出させるという、したたかな"采配ぶり"だった。

平成一〇年一〇月現在、裁判が進行中だが、安岡さん殺しは"SM緊縛プレイの果ての事故死"説も飛び出し、話題性にはこと欠かない。

▶指名手配写真は、計一二種類にものぼる。
読売新聞社

勝者・敗者

W杯初出場の悲願を達成！ エースのカズすらはずした岡田武史監督最大の"決断"

阿部珠樹

後半一七分すぎ、岡田武史監督（四一）は、三浦知良に交代を告げた。

「オレか？」

カズは一瞬、怪訝な表情をしたが、すぐ納得してベンチに戻ってきた。カズは、長い間日本のサッカーを引っ張ってきたエースであり、スターだった。その選手を引っこめてまでも勝負に徹する。岡田武史が監督に就任して以来、最大の決断だった。

この年一一月一六日、マレーシア・ジョホールバル、ラルキンスタジアム。W杯アジア地区第三代表決定戦、日本対イランの戦い。勝った方がW杯に出場できる。四年前の「ドーハの悲劇」の借りを返し、日本サッカーの新しい歴史を作るためにも、日本代表にとっては絶対に落とせない試合だった。だが、その大一番の指揮を、岡田がとることになるとは、本人をはじめ、誰も考えたものはいなかったろう。監督就任は一ヵ月余り前の一〇月四日。予選序盤で韓国に敗れ、カザフスタンと引き分けて、土俵際に追いこまれた責任を取って、加茂周監督が更迭され、ヘッドコーチの岡田に、急遽、監督のお鉢がまわってきたのだ。はっきり言えば、ほかに引き受け手がなかったための緊急避難、間に合わせの処置だった。

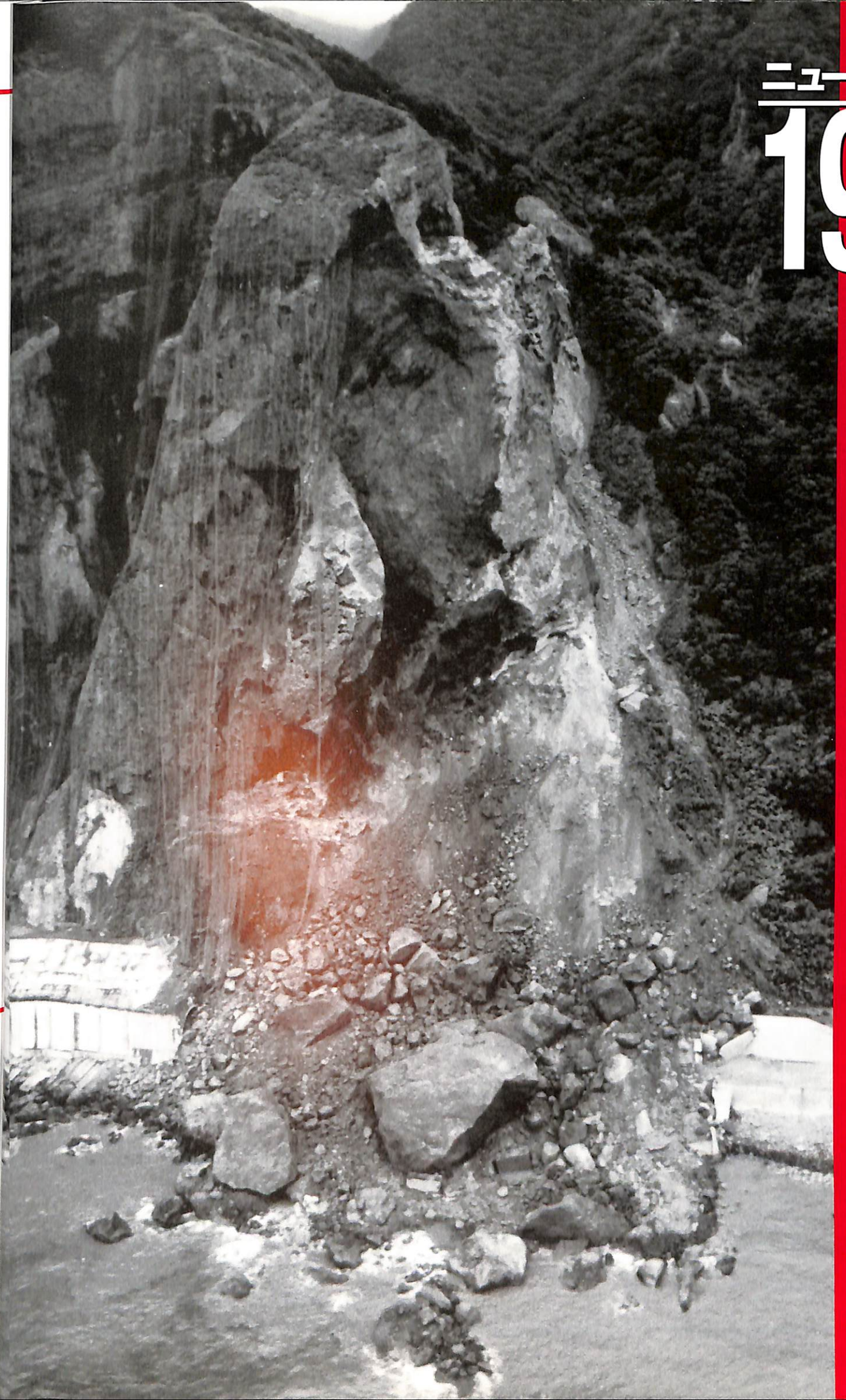
「岡田では勝てん」の声は、就任直後から高かった。なんと言っても監督経験が一度もない。典型的な日本のサラリーマン的風貌の持ち主で、およそカリスマ性とは縁がない。

だが、岡田は周囲の雑音にはとらわれず、黙々と自分のやり方を貫いた。加茂時代には不足していた選手との対話をふやして、戦術の徹底をはかる一方、名前にとらわれず、コンディションとチーム状態から判断して、最善と思われる選手を起用する方針を貫いた。その結果がカズの交代だったのだ。試合は岡野雅行の決勝ゴールで日本が勝利し、悲願をはたす。日本サッカーを救ったのは、平凡な外見の内側に非凡な決断力を隠し持った、地味な中年男だった。

▲グラウンドに飛び出した岡田監督に、フランス行きの切符を手にしたばかりの日本代表が一斉に駆け寄る。
読売新聞社

朝日新聞社

▲オウム真理教の旧富士山総本部、解体（1月6日）地下鉄サリン事件などを起こした宗教法人が、破産宣告で明け渡し。この日、破産管財人が着手、3月末に完了した。

AP／WWP

▲ガンジーの遺灰、ガンジス川へ（1月30日）暗殺後、荼毘にふされた遺灰は、州ごとにまかれたが、オリッサ州だけが保管と判明。最高裁判決により、約49年ぶりにひ孫の手で、この日、川に流された。

▼▶松田聖子、神田正輝と離婚（1月10日）結婚以来、12年目で破局。別々の記者会見で松田（34、写真右）は、「後悔していない」と述べ、神田（46、下）は「よくやったな」と結婚生活を語った。

報知新聞社（下も）

▼京樽、会社更生法申請（1月19日）首都圏で持ち帰り寿司店などをチェーン展開。バブル期の財テク失敗で再建中だったが、競争激化とO157騒動が痛手となった。

共同通信社

AFP／PANA通信社

◀篠塚、日本人初の栄冠（1月19日）アフリカの砂漠を縦断するダカール・ラリーで、三菱パジェロに乗る篠塚建次郎（48、写真右）が総合優勝。12回目の挑戦で悲願を達成した。

▶「ヘブロン合意」で握手（1月15日）イスラエルのネタニヤフ首相（左）と、パレスチナ自治政府代表・アラファトＰＬＯ議長が会談。ヘブロンからのイスラエル軍撤退で、初めて右派政権が合意した。

ロイター／サンテレフォト

平成9年1月

1（水）●ペルーの日本大使公邸人質事件で、七人解放（2日、二人解放され、残る人質は七二人）。
2（木）●島根県沖でロシアのタンカー沈没（7日から大量の重油が五府県に漂着、4月、回収終了）。
3（金）●米国政府、米国商社の北朝鮮食糧輸出を承認。
4（土）●前年の交通事故死、九年ぶりに一万人を割り九九四一人、と警察庁が発表。
5（日）●ロシア軍がチェチェン共和国から完全撤退。
6（月）●吉村午良長野県知事が「スケート競技はミズスマシ」と発言（9日、謝罪会見）。
7（火）●警視庁、香港系の金庫破り二一人を検挙。
8（水）●デジタルカメラの売れ行きが絶好調と新聞に。
9（木）●砂漠緑化めざすナイル川大規模事業、起工式。
10（金）●企業と大学の就職協定協議会、協定を全廃。
11（土）●松下電器が退職金の分割前払いなど「全額給与支払い型」社員制度を翌春導入、と新聞に。
12（日）●首都高速道路の橋脚耐震工事で手抜き発覚。
13（月）●アサヒビール、シェア回復、三七年ぶり三〇％。
14（火）●日経連、五年連続の「ベアゼロ」方針を確認。
15（水）●アジア女性基金、フィリピンの元慰安婦への医療・福祉事業支援実施の覚書に署名。
16（木）●O157で死亡した小学六年生女児の両親、堺市に損害賠償七八〇〇万円請求の提訴。
17（金）●神戸市などで阪神・淡路大震災二周年追悼式。
18（土）●テレビ好感度トップは山口智子と所ジョージ。
19（日）●ダカール・ラリーで篠塚建次郎、日本人初優勝。
20（月）●クリントン米大統領、二期目の就任式。
21（火）●独とチェコ、第二次世界大戦前後の過ちを認め合う「和解宣言」にプラハで調印。
22（水）●亀井静香建設相、住宅・都市整備公団の分譲部門からの完全撤退を衆院本会議で表明。
23（木）●東京地検、前関西空港社長を収賄容疑で逮捕。
24（金）●百貨店・スーパーの売上高が五カ月連続下落。
25（土）●全豪テニス、一六歳のヒンギスが最年少優勝。
26（日）●三二〇〇の市町村を一〇〇〇以下にするための合併策を準備中と、武藤総務庁長官が言明。
27（月）●文部省、小中学校の通学区制緩和促進を通達。
28（火）●ＪＲ東日本、初乗り運賃を一五年ぶりに一〇円値上げし一三〇円と決定（4月、実施）。
29（水）●参院、オレンジ共済組合事件の友部達夫議員の逮捕許諾請求を議決。同日逮捕。
30（木）●米国務省、年次報告で中国の人権侵害を批判。
31（金）●公安審査委員会、オウム真理教への破壊活動防止法の適用を棄却。

ニュース・ファイル 1997

フォト＋日録で再現する365日

消費税の値上げで、日本経済は不況色を一層強め、都市銀行の拓銀、大手証券の山一が破綻。日本海重油汚染、ペルー日本大使公邸突入、神戸児童連続殺傷……と大事件が続く中、「たまごっち」「ポケモン」「もののけ姫」がブームを呼び、サッカーW杯の初出場決定に沸いた。

◀トンネル崩壊（8月25日）北海道西部を日本海ぞいに走る、国道229号線の崖の岩盤が、島牧村付近で滑り落ち、第2白糸トンネルを破壊。死傷者はいなかったが、道開発局が対策が必要としていた危険地域だった。
読売新聞社

PANA通信社

▲北朝鮮労働党書記が北京で亡命(2月12日)最高指導者・金正日の後見人で側近の黄長燁(73)だったため、世界に衝撃が走った。黄は、4月に韓国入りする。

朝日新聞社

◀密航者すし詰め(2月25日)島根県警が、松江市の国道でトラック2台を検問。河下港で巡視艇から逃走した、バングラデシュ人55人を発見、逮捕した。

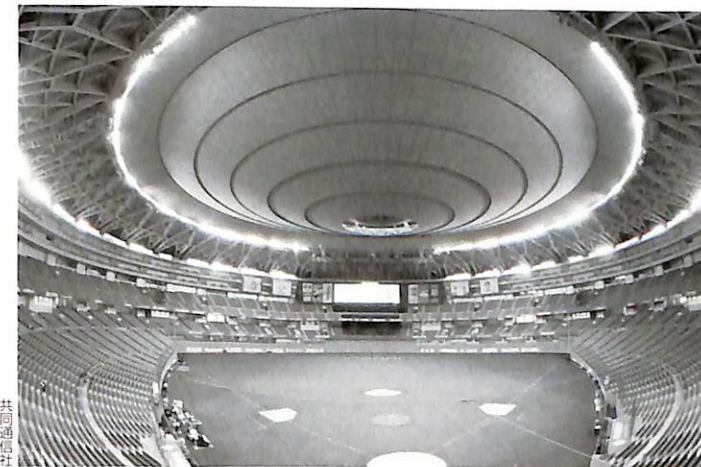
ロイター　サンテレフォト

▼クローン動物の誕生(2月23日)英・ロスリン研究所で、雌羊の体細胞を用いた、世界初のクローン羊「ドリー」の前年7月誕生が判明。8月には、米国でも猿(写真)が誕生していたことがわかった。

共同通信社

◀「百済大寺」発見(2月27日)奈良国立文化財研究所などが、桜井市で発見された巨大な基壇跡「吉備池廃寺」を、飛鳥時代に天皇が建立した最古の官寺の金堂と推断。大きさは法隆寺金堂の2倍あった。

▶鄧小平が死去(2月19日)改革・開放路線によって中国近代化を推進してきた実力者が、ついに逝った。92歳。写真は、25日に北京の人民大会堂で開かれた追悼集会で、涙を拭いながら鄧路線の継承を誓う江沢民主席。

新華社／中国通信

共同通信社

▲大阪ドーム、完成(2月27日)巨人、ダイエーに続き近鉄の本拠地も全天候型に。コンサートや展示会など、用途によって天井が上下する。3月には、中日の本拠地・ナゴヤドームも開場した。

共同通信社

▶三池炭鉱、閉山(3月30日)日本の近代化を支えてきた、大牟田市の日本最大の「やま」が124年の歴史に幕。最近の出炭量は、絶頂時の3分の1にまで減少。下請けを含め、約3000人が失職した。

読売新聞社

◀動燃の再処理工場で火災・爆発(3月11日)茨城県東海村のアスファルト固化施設で発生、もれた放射能で37人が被曝。後に工場側の事故もみ消し・虚偽報告が問題化した。写真は、現場の密閉作業。

読売新聞社

▶原田雅彦、日本人初V(3月1日)ノルウェーで行われた世界選手権ジャンプ・ラージヒルで、K点超えの128メートルを決めるなど、長野五輪に向け絶好調。

読売新聞社

▲ビル屋上の43人を救出(3月18日)名古屋市のオフィス街・栄の9階建てビルの3階から出火。各階に黒煙が立ちこめ、消防車39台、ヘリ3機が出動した。

読売新聞社

▶富士山頂のヘール・ボップ彗星(3月9日)未明、富士宮市北山で撮影。22日に地球に最接近する近地点を通過。直径がハレー彗星の2～4倍以上もあり、肉眼で確認できるほど明るかった。

▶世界最速「のぞみ」スタート(3月22日)山陽新幹線の新大阪―博多間を、従来より15分早い2時間17分で運転。時速300キロはフランスの高速列車「TGV」と同じ。写真は、新大阪駅での出発式。
読売新聞社

平成9年2月

1(土)●警察庁、財テク犯罪急増と発表。前年の被害者約六〇〇〇人で被害総額は約四五五億円。
2(日)●中国密航船、伊豆・八丈島沖で発見(3日下田海岸、4日銚子沖、17日三重県大王崎沖でも)。
3(月)●旧国鉄の汐留跡地、三七一三億円で落札。
4(火)●バスケットの萩原美樹子、初の米国プロ契約。
5(水)●中国・ウイグル自治区で独立求め暴動と外電。
6(木)●インフルエンザ流行し、特別老人ホームの老人が一月以来三八人死亡と、東京都福祉局。
7(金)●消費者金融大手四社、「多重債務」と自己破産急増で、貸し出し一人四社までなど対策決定。
8(土)●東京で中国人グループが中国人四人を監禁、身代金二八〇万円を受け取る(11日六人検挙)。
9(日)●アルバニアのネズミ講倒産による反政府デモ、警官隊と衝突し初の死者(4月多国籍軍出動)。
10(月)●米軍の鳥島での劣化ウラン弾発射が表面化。
11(火)●衆院議員の旭道山、両国国技館で断髪式。
12(水)●北朝鮮労働党の黄長燁書記、北京で韓国への亡命を申請(4月20日、ソウルに到着)。
13(木)●ニューヨーク株式市場、ダウ平均が史上初の七〇〇〇ドルを突破(7月16日、八〇〇〇ドルに)。
14(金)●都道府県と市町村発行の地方債の残高合計が九三兆円に。国債と合わせ四一〇兆円。
15(土)●通信自由化の基本電気通信交渉で、六七カ国・地域が調印。翌年から市場は原則的に自由。
16(日)●奈良・吉野杉、酸性雨で危機的と保護グループ。
17(月)●岡本公三ら日本赤軍五人をレバノン当局が拘束とこの日判明(3月4日、日本政府確認)。
18(火)●平尾誠二がラグビー日本代表監督に。
19(水)●中国の最高実力者・鄧小平が死去。九二歳。
20(木)●芥川賞の柳美里サイン会、脅迫電話で中止。
21(金)●高校中退者増加し九万八一七九人と文部省。
22(土)●公的年金、受給者がふえ三〇兆円を突破。
23(日)●世界初のクローン羊誕生と英紙が報道。
24(月)●前年の広告費は六・三%増の五兆七六九九億円で史上最高、パソコンなどが活発と電通。
25(火)●海上保安庁、密航者急増で密航対策本部設置。
26(水)●山口地裁宇部支部、事故死した社員に会社がかけていた保険金を遺族に支払うよう命令。
27(木)●大阪ドーム、完成(3月12日ナゴヤドームも)。
28(金)●最高裁、速記官の新規募集をやめ、テープ録音を文書化する方式へ移行と表明。
●名古屋国税局、プロ野球選手らに脱税指南の経営コンサルタントを強制調査。

平成9年3月

1(土)●スイスに「ナチス犠牲者基金」発足。
2(日)●訪日中国孤児一期生が一六年ぶりに同窓会。
3(月)●佐々木喜久治秋田県知事、食糧費など公費乱用問題で引責の辞表を提出(31日、辞職)。
4(火)●韓国の李寿成内閣、融資疑惑などで総辞職。
5(水)●文化庁、対馬の「宗家文庫」の買い取りを決定。
6(木)●野村証券、総会屋への利益供与が発覚(5月酒巻英雄元社長ら四人が逮捕される)。
●ウィーン・フィルに創設一五五年で初の女性。
7(金)●柔道の小川直也、プロレス転向を発表。
8(土)●地雷廃絶めざし「東京地雷会議'97」開催。
9(日)●世界室内陸上四〇〇メートルで苅部俊二が初の銅。
10(月)●薬害エイズ初公判、安部英前帝京大副学長が無罪を主張(12日、松村明仁元厚生省課長も)。
11(火)●茨城県東海村の動燃再処理工場で火災・爆発(13日、被曝者三七人、事故隠しが問題化)。
12(水)●東電柏崎原発で世界一の出力試験運転達成。
13(木)●最高裁、企業ぐるみ選挙に「連座制」を初適用。
14(金)●全国初の服装規則制定の三沢市議会、ノーネクタイ議員の五日間出席停止処分を決議。
15(土)●中国の伍紹祖体育主任、閣僚として初の訪台。
16(日)●神戸市須磨区で通り魔、小学女児二人が死傷。
17(月)●道路公団の負債、二〇一三年に三五兆円に。
18(火)●イスラエルが東エルサレムでユダヤ人住宅の建設に着工(パレスチナ反発でテロや衝突)。
19(水)●東京・渋谷のホテル街で東京電力OLの死体発見(5月20日、ネパール人男性逮捕、否認)。
20(木)●地下鉄サリン事件一周年、霞ケ関駅で献花式。
21(金)●サラリーマン世帯の平均貯蓄、一二七九万円。
22(土)●秋田新幹線「こまち」、開業。
23(日)●大相撲春場所、四人の決定戦で貴乃花が優勝。
24(月)●静岡地裁、本人無断の団体保険は無効の判決。
25(火)●豪・上院、世界初制定の安楽死法を否決。
26(水)●東京地裁で厚生省汚職事件の初公判、岡光序治前厚生事務次官が起訴事実を認める。
27(木)●北海道の二風谷ダム訴訟で札幌地裁、アイヌ民族の「先住性」を認める初の司法判断。
28(金)●名古屋の配送会社で玩具「たまごっち」盗難。
29(土)●被災した神戸の「風見鶏の館」が修復し再開。
30(日)●三井三池炭鉱が閉山。一二四年の歴史に幕。
●スーパーや安売り店など、消費税値上げ前の「最後の大量買い物」客で満員、と新聞に。
31(月)●惑星探査機「パイオニア一〇号」、最後の交信終え、八万年後の恒星接近めざし宇宙へ出発。

▶ペルー政府、突入(4月22日)反政府ゲリラに占拠された日本大使公邸を、特殊部隊が急襲。127日ぶりに71人を救出。写真中央は人質だった青木大使。

読売新聞社

共同通信社

▲故・梶原一騎の娘(17)、遺体で発見(4月28日)誘拐され、身代金を要求されていたが、台北郊外で遺体が見つかった。犯人は11月逮捕。写真は母の白冰冰さんと生前の暁燕さん(右)。

共同通信社

◀日産生命に業務停止命令(4月25日)生保では初。バブル崩壊直後からの債務超過に大蔵省が大なた。日本版ビックバンを控え、金融市場に不安が広がった。

読売新聞社

▼特措法改正案に抗議(4月17日)沖縄の米軍基地継続使用で、国の裁量を強化した改正案を参院で可決。政府のごり押しに怒声、傍聴人21人が拘束された。

朝日新聞社

▲「脳死を人の死」とする臓器移植法案可決(4月24日)衆院を通過。写真は、その瞬間、傍聴席で泣く女性。ただし、提供者の生前の意思表示を必要とした。

ロイター/サンテレフォト

▶21歳ウッズ、マスターズ制覇(4月13日)大会最年少、最少ストロークの270で初優勝。写真は、プロゴルファー憧れのグリーンジャケットを着るウッズ。

平成9年4月

1(火)●消費税が五%に。公共料金一斉に価格に転嫁。
2(水)●最高裁、愛媛玉串料訴訟で靖国神社への公費支出に違憲判決。
3(木)●成田空港の利用者、この日で開港以来三億人。
4(金)●政府、公共工事の一〇%削減を決定(22日、関連一三省庁がコスト削減計画を策定)。
5(土)●東京駅前の「丸ビル」閉館(大正12年竣工)。
6(日)●工場廃棄物を再利用する工場が増加と新聞に。
7(月)●オーストリアで遺伝子操作食品の販売禁止を求める国民請願に、一二六万人が署名。
8(火)●携帯電話が二六〇〇万台を超えた、と郵政省。
9(水)●大手企業の八割が電子メール導入と通産省。
10(木)●国民生活センター、販売方法が悪質と太陽熱温水器販売の「朝日ソーラー」の社名公表。
11(金)●厚生省、ダイオキシン排出濃度が基準を上回った七二ヵ所のゴミ焼却場名を初公表。
12(土)●大田昌秀沖縄県知事、基地整理・縮小求め訪米。
13(日)●タイガー・ウッズ、最年少でマスターズ制覇。
14(月)●農水省、長崎県諫早湾干拓の堤防すべて閉鎖。
15(火)●科学技術庁、事故の通報遅れなどで動燃に、敦賀市の新型転換原型炉「ふげん」の停止命令。
16(水)●携帯電話の車内使用に苦情が相次ぐため、JRや私鉄が追放作戦を開始と、新聞に。
17(木)●韓国大法院、全斗煥元大統領に無期、盧泰愚前大統領に懲役一七年の判決(12月22日特赦)。
18(金)●正倉院、皇室財産として初めての国宝指定。
19(土)●中国と台湾の直航貨物船、四八年ぶりに就航。
20(日)●住宅地の地価、東京はニューヨークの四五倍、と国土庁と日本不動産鑑定協会が発表。
●東京都美術館で「ルーブル美術館展」開催。
21(月)●返還前の香港に中国軍先遣隊四〇人が到着。
22(火)●リマ日本大使公邸人質事件、特殊部隊突入で一二七日目の人質救出(犯人一四人全員射殺)。
23(水)●中ロ首脳会談、共同宣言などに調印。
24(木)●オウム裁判で松本被告が初の陳述。犯行否認。
25(金)●大蔵省、日産生命に生保初の業務停止命令。
26(土)●中国湖南省で八〇〇〇年前の遺跡から最古の稲など農作物を大量発見、と新華社電。
27(日)●国連機関、ルワンダ難民一〇万人の空輸開始。
28(月)●一四日に誘拐され五〇〇万米ドルを要求されていた故・梶原一騎の台湾在住の娘の遺体発見。
29(火)●全廃をめざす化学兵器禁止条約発効。
30(水)●日本PTA全国協議会の調査で、子ども専用テレビが三軒に一軒の割合と判明。

証言・あの日この日
森 浩一(69)

共同通信社

7月17日(木) 〈今日は自分の誕生日、大学からの帰り、錦市場の〔北治〕でヨコワ(クロマグロの幼魚)と鯛の造りを買う。祭りでよほど大きな鯛をさばいたのかアラ一山が400円、これを求め豆腐鍋にする。出費の額はともかく、豪華な誕生日になった。それにしてもすごい鯛だった〉(森浩一『食の体験的文化史』)

京都在住の考古学者・森浩一は、職業柄、若い時から「食」の文化史に関心が深かった。だから魚屋や食料品店に立ち寄ることもしばしばであった。「食」の文化の謎をさぐることも考古学の一種なのだ。この日、鯛を安く買うことができたのも、祇園祭の宵山で鯛がよく売れたことを意味していた。また祇園祭の宵山では、御神体に飛魚の干物2匹を供えるしきたりだが、なぜ飛魚を供えるのか、森にもまだよく解らない。(山崎行太郎)

読売新聞社

◀回送中の山陽新幹線が脱線(5月6日)岡山駅の引きこみ線で車止めを突破、市道にはみ出して鉄柵に激突。原因は居眠り運転で、ATCは作動したが制動距離不足だった。

日刊スポーツ

▶今村昌平監督「うなぎ」、カンヌで最優秀作品賞(5月18日)「楢山節考」に続き2度目。役所広司主演。8年ぶりの新作だった。写真は東京で会見する今村(70、中央)。

ロイター/サンテレフォト

▲英国新首相に労働党のブレア(5月2日)保守党長期政権に嫌気がさした国民の意思を反映。43歳。愛国者でロック好き。史上最年少の首相だった。写真左は夫人。

ロイター/サンテレフォト

▶コンピュータ、史上初勝利(5月11日)ロシア人のチェス世界王者・カスパロフに、IBM社製「ディープブルー」が前年に続く挑戦。1勝1敗3引き分け後の最終戦、19手目で王者を投了させた。

▼参院予算委で野村証券事件を追及(5月28日)総会屋グループ代表・小池隆一への巨額融資にからみ、元会長・田淵節也、元社長・酒巻英雄と第一勧銀相談役・宮崎邦次、同頭取・近藤克彦を喚問(左から)。

朝日新聞社

平成9年5月

1(木)●英総選挙で労働党圧勝(2日ブレア内閣発足)。
2(金)●女性のカルシウムと鉄分不足が顕著と厚生省。
3(土)●冒険家の河野兵市、徒歩で単独北極点到達。
4(日)●奈良県月ケ瀬村で中学二年女生徒が行方不明(7月23日、二五歳の無職の近所の男を逮捕)。
5(月)●不良債権一〇〇億円の栃木市農協で、不正融資が発覚し、前組合長ら六人を逮捕。
6(火)●新進党の代議士らが尖閣諸島の魚釣島に上陸。
7(水)●独・ルフトハンザや米・ユナイテッドなど航空五社が、世界最大規模の連合結成で合意。
8(木)●衆院本会議、アイヌ新法を全会一致で可決。
●日立デジタル平凡社、国産初の本格マルチメディア百科事典「マイペディア97」を発売。
9(金)●米国とベトナム、大使がそれぞれ初の着任。
10(土)●イランでM七・一の地震、一五六〇人死亡。
11(日)●チェスの六番勝負、米国IBM製のコンピュータが初めて世界チャンピオンを破る。
12(月)●大相撲、八年ぶりに「満員御礼」途切れる。
13(火)●青木盛久ペルー大使、参院で謝罪と辞意表明。
14(水)●平成八年度の公共工事着工額は一六兆三三五七億円で、前年度比一五%の大幅減と建設省。
15(木)●専業主婦の労働は年間二七六万円、と経企庁。
16(金)●ビッグバンの第一弾、改正外為法成立。
17(土)●医療事故の七割は過誤、と医療事故調査会。
18(日)●今村昌平監督の「うなぎ」、カンヌ国際映画祭でパルム・ドール賞(最優秀作品賞)を受賞。
19(月)●二〇万人の海外兵力態勢堅持と米国防総省。
20(火)●東京地検、第一勧銀を総会屋融資容疑で家宅捜索(7月4日までに会長ら一一人を逮捕)。
21(水)●物流やエネルギーの規制緩和が実現すれば、二〇〇一年で一世帯三六万円還元、と通産省。
22(木)●アルゼンチンで翼を持つ恐竜化石発見と発表。
23(金)●中国政府、「内外人二重価格」の撤廃を表明。
24(土)●建設二〇社の保証債務が二兆円と大和総研。
25(日)●多摩動物公園でニホンイヌワシの繁殖成功。
26(月)●鹿児島県国分市の上野原遺跡で、縄文時代早期の集落跡出土。国内では最古・最大級。
27(火)●神戸市の中学の正門前で小学校六年の土師淳君の頭部を発見(神戸児童連続殺傷事件)。
28(水)●日本精神神経学会、性転換手術を原則的承認。
29(木)●ヤンキース、伊良部秀輝投手獲得を発表。
30(金)●韓国で「たまごっち」持参の登校に禁止の通達。
31(土)●ASEAN特別外相会議、ミャンマー・カンボジア・ラオスの加盟を決定。

◀悲しい偶然(6月18日)偉大な聖女と元英皇太子妃が、ニューヨークの修道院前でにっこり。二人は9月に相次いで死去。マザー・テレサ(87)の死は、ダイアナの葬儀の前日だった。

AP/WWP

▲平木理化(25)、日本人初の全仏V(6月7日)パリのテニス全仏オープン・混合ダブルスに、インドのブパシ(23)と即席ペアを組み、初優勝をはたした。

ロイター/サンテレフォト

▲噛みつきタイソン、失格(6月28日)WBA世界ヘビー級ボクシング選手権で、王者・ホリフィールドの耳に2度も。「世紀の再戦」が、最悪の結果となった。

▶野島断層を永久保存(6月26日)阪神・淡路大震災を起こした、活断層のなまなましい傷跡(写真)を中心に、淡路島に野島震災復興記念公園が起工された。

読売新聞社

読売新聞社

▲岡本公三被告(49)ら初公判(6月9日)2月に逮捕された日本赤軍の5人が、ベイルート地裁に出廷。旅券偽造を否認、アラブの大義のための闘争を主張した。

共同通信社

▶「アラビアのロレンス」のオートバイ売り出し(6月13日)第1次大戦下のアラブ独立運動指導者が、事故死した時に乗っていた英国製「ブラフ」で、約4億円。

ロイター/サンテレフォト

平成9年6月

- 1(日)●英のO157食中毒で最悪の二〇人目の死者。
- 2(月)●神奈川県警、中国に約一二六億円を不正に送金していた「地下銀行」の中国人二人を逮捕。
- 3(火)●少年犯罪で補導から逮捕に転換と警察庁決定。
- 4(水)●神戸児童連続殺傷事件の犯人「酒鬼薔薇聖斗」を名乗る「声明文」が、神戸新聞社に届く。
- 5(木)●京都で蓮如が築いた「山科本願寺」の環濠や焼失した建造物の跡などが出土。
- 6(金)●日教組が結成五〇周年式典、現職文相初出席。
- 7(土)●平木理化、全仏オープンテニスで初優勝。
- 8(日)●スイス、武器輸出全面禁止を国民投票で否決。
- 9(月)●生保大手八社、収入減で戦後最悪の決算。
- 10(火)●福岡放送でCM一一五九本の間引きが発覚。
- 11(水)●将棋の谷川浩司、名人位を奪回。永世名人に。
- 12(木)●二〇〇五年万博、愛知県瀬戸市に決定。
- 13(金)●大蔵省の三審議会、金融ビッグバンのスケジュールなどまとめ三塚博蔵相に最終報告。
- 14(土)●世界銀行、熱帯雨林破壊が進行し今後三〇年間で鳥類・植物の三五%が絶滅と警告。
- 15(日)●ヤンキースの伊良部、二試合目で初勝利。
- 16(月)●大蔵省改革めざす金融監督庁設置二法、成立。
- 17(火)●横浜港は生鮮野菜の輸入ラッシュ、円高と輸送技術向上で五年間に五倍の急増、と新聞に。
- 18(水)●埼玉県の浦和・大宮・与野の三市、二〇〇〇年四月を目標に合併することで合意。
- 19(木)●ワシントン条約締約国会議、日本への象牙の一部輸出を認める提案採択。タイマイは否決。
- 20(金)●米国の喫煙被害の医療費訴訟、メーカー各社の三六八五億ドル(約四二兆円)の支払いで和解。
- 21(土)●カンボジア政府、ポル・ポト派の消滅を宣言。
- 22(日)●岐阜県御嵩町の産廃住民投票、七割が反対。
- 23(月)●冒険家の大場満郎、世界初の徒歩とスキーによる単独北極海横断に成功。
- 24(火)●米空軍、一九四七年UFO墜落説を正式否定。
- 25(水)●岡山労災病院で五八人がO157食中毒に。
- 26(木)●六五歳以上の高齢者人口が、一五歳未満の子ども人口を超した、と総務庁の人口推計。
  ●千葉大、全国初の高校二年生の入学を認める。
- 27(金)●測地審、地震発生の直前予知は困難と結論。
- 28(土)●神戸児童連続殺傷事件で中学三年の男子を逮捕(7月15日、2月の通り魔事件で再逮捕)。
- 29(日)●総会屋に利益供与をした第一勧銀事件で事情聴取を受けていた同行元会長が、自宅で縊死。
- 30(月)●前年の離婚は二〇万六九六六組で過去最高。

「現場」を歩く

名護

山本徹美

受け入れと阻止で今も揺れ動く米軍ヘリポート基地建設予定地

▲名護市東岸の辺野古漁港から沖合を望む。辺野古崎の南側にあたるこの海上に、ヘリポート基地が建設される予定。 但馬一憲

平成九年一二月二一日、沖縄県名護市で、米軍海上ヘリポート基地建設の是非を問う住民投票が実施された。

発端は平成八年四月、日米両政府の合意で普天間飛行場を返還する見返りに浮上した、代替ヘリポート基地の建設計画にある。両政府は名護市にあるキャンプ・シュワブ沖を候補地に指名。これを受けて同市では臨時市議会を開催、全会一致で移設反対決議を採択した。同年一一月、代替ヘリポート建設反対市民総決起大会に出席した比嘉鉄也名護市長(当時)は、「断固反対」と意思表明した。

基地は名護市の東岸、辺野古地区の沖合が予定されていた。地元では「ヘリポート建設阻止協議会 命を守る会」を結成、漁港の浜に小屋を建てた。

当初、基地建設反対の態度を表明していた比嘉市長だったが、平成九年四月、大田昌秀知事との会談で、「振興策をもりこむなど、地元の同意が得られ、県が責任を持つのであれば」と、条件を提示。大田知事は、国の支援を得て振興策をはかると約束、基地建設事前調査が始まる。

地元商工会や基地地主、旅館組合などでは「名護市活性化促進市民の会」を結成、条件つき誘致を歓迎した。賛成派と反対派が対立するにいたって、同年一〇月、市議会は市民投票条例を修正可決、投票による決着をはかったのである。

苦渋の決断

市民投票の結果は、誘致反対が一万六六三九票、賛成が一万四二六七票。投票率は八二・四五%。反対票が上回ったわけだが、三日後の一二月二四日、比嘉市長は当時の橋本龍太郎首相と会談、基地建設受け入れと市長辞任を表明する。

比嘉前市長を、自宅で直撃取材した。

「あれは苦渋の決断だった。基地の犠牲と負担にあえぐ沖縄にとって、内地の人に痛みがわかってもらえる県外移設が最善であることは明白。だが、過疎化の激しい北部山原地域の活性化には、基地受け入れもやむなし、と決断した。基地問題はドッジボールではない。大田さんは避けるばかり。それで政治ができるか」

比嘉前市長の行為に対して民事訴訟を起こした原告団(五〇四人)の一員、輿石正・名護高等予備校長の主張。

「市民投票はいわば直接民主主義。結果には民意が反映されている。それが無にされてはたまらない。選挙で当選した市長の『票』の方が重く、市民投票が軽い、との判断を最大の争点にしたい」

シュワブ基地のある辺野古に行ってみた。監視小屋は今も健在だ。

「北海道はじめ全国から毎日、支援者が来られ、月平均三八〇人にもなる。ここを閉めると運動自体が終わるから、とことん続けますよ」(ヘリポート建設阻止協議会・西川征夫幹事)

砂浜に立ち、基地を眺める。強風は鉛色の雨雲を引きちぎり、砲声のような炸裂音を私の耳元に運んできた。

◀名護市で実施された住民投票の結果、海上ヘリポート基地建設反対票が、小差ながら賛成票を上回った。勝利を喜ぶ反対派事務所の幹部ら。 読売新聞社

ベストセラー

書名が流行語になった！『失楽園』『少年H』ブーム

この年ベストセラーになった渡辺淳一の『失楽園』は、その題名が流行語になるほど大きな話題を呼んだ。「日本経済新聞」に連載されていた時すでに、不倫がテーマで、しかもその性描写が大胆なことから、掲載紙のイメージを打ち破る小説として話題になっていた。それが単行本として刊行され、さらに映画やテレビで映像化されるにいたって、主婦層をも巻きこむ〝失楽園ブーム〟を起こした。

物語は、五三歳にして閑職に追いやられた出版社の社員と、三七歳の、書道の講師をしている人妻との出会いから心中にいたるまでを描いたもので、その性愛のひたむきさが、際立っていた。

また、戦時中の思い出を描いた、妹尾河童の『少年H』も大いに話題となった。舞台美術家として活躍する著者ならではの克明な描写には、古い記憶を鮮明に映像化してしまうパワーがあり、戦争がもたらしたひとつの現実を、見事に浮かび上がらせた。軍国主義にくみしない父親から的確な教えを受けながら、独自の行動を積み重ねてゆく少年Hの生き方は、現在の子どもたちにも斬新な印象を与えた。なおこの本には総ルビに近いほどたくさんの振り仮名がつけられているが、これは子どもたちにも読んでほしいという著者の意向によるものだった。

翻訳本では『平気でうそをつく人たち』がよく売れた。これは、その副題に「虚偽と邪悪の心理学」とあるように、心理学者がそのケーススタディから、さりげない日常にひそむ〝悪〟を取り出してみせたもの。専門書の類でもあるこの本が売れた要因に、日本語タイトルの秀逸さがあげられ、この版元のユニークなタイトルの決め方も話題になった。

●平成９年のベストセラー

1位『ビストロ　スマップ完全レシピ』(ビストロスマップ制作委員会／フジテレビ出版)
2位『永遠の法』(大川隆法／幸福の科学出版)
3位『失楽園(上·下)』(渡辺淳一／講談社)
4位『母の詩』(池田大作／聖教新聞社)
5位『少年H(上·下)』(妹尾河童／講談社)
6位『7つの習慣』(スティーブン・R・コヴィー／キング・ベアー出版)
7位『鉄道員(ぽっぽや)』(浅田次郎／集英社)
8位『ももこの世界あっちこっちめぐり』(さくらももこ／集英社)
9位『まる子だった』(さくらももこ／集英社)
10位『ユートピア創造論』(大川隆法／幸福の科学経典部)

全国出版協会出版科学研究所

▲『失楽園』(上下巻とも1400円)

▲『少年H』(上下巻とも1456円)

▲『平気でうそをつく人たち』(M・S・ペック、草思社、2200円)

スターと名場面

配収一〇〇億円を突破！「もののけ姫」の同時代性

この年公開された宮崎駿監督・脚本のアニメ「もののけ姫」は、配給収入一〇〇億円を超える記録的な大ヒットとなった。この国が「深い森におおわれ、太古からの神々がすんでいた」時代を背景にして、大自然と人間が共存できないかと奔走する若者・アシタカと、大自然の側から人間を批判し続けるもののけ姫・サンを描いた作品は、環境問題を抱える現代人にリアルに迫ってくるものがあり、感動的だった。

また、奈良県の大自然を背景に、家族のあり方を描いた河瀬直美監督の「萌の朱雀」は、カンヌ映画祭の新人監督賞にあたるカメラ・ドール賞を受賞し、脚光をあびた。湯気に包まれる朝の台所から始まる映像は、若々しいセンスにあふれていた。

一方、脚本家として人気のあった三谷幸喜の映画監督デビュー作「ラヂオの時間」は、期待にたがわぬ好評を得た。ナマ放送のラジオドラマを進行させながら描く現代人のドラマで、スピーディーでにぎやかな作品だった。

この年、ほかに次のような作品が公開された。かっこ内はおもな出演者。「タイタニック」(レオナルド・ディカプリオ)／「フィフス・エレメント」(ブルース・ウィリス)

スタジオジブリ提供©1997 二馬力・TNDG

▲「もののけ姫」で、大自然を象徴する存在として活躍する少女・サンと犬神・モロ。

©WOWOW＋バンダイビジュアル

▲「萌の朱雀」で自然な演技を見せた、柴田浩太郎(左)と尾野真千子(右)。

◀「ラヂオの時間」では、鈴木京香、唐沢寿明、西村雅彦(左から)がそれぞれ味のある役柄をこなした。

©1997 フジテレビ 東宝

モノ語り'97

健康と癒しが気になる人々に「ボン・ルージュ」「キシリトール・ガム」「エッセンシャルオイル」

▲**歯によいガムの登場**　この年5月、ロッテから発売された「キシリトール・ガム」は、デンタルケア機能のある糖アルコール〝キシリトール〟を含有しており注目された。国内では初めてのキシリトール入り食品だった。写真は粒タイプで、14粒入り120円。

▶**赤ワインが健康的と大ブレイク**　もともと赤ワインは健康によいと言われていたが、医学的にも証明されて、にわかに注目を集めた。ワインの成分中、ポリフェノールの含有量が高いほど過酸化脂質を作る活性酸素を消去することがわかったため、メルシャンでは、前年10月に従来の1.5倍のポリフェノールを含む赤ワイン「ボン・ルージュ」を発売、これが評判になった。720ミリリットル入りで580円(税込み)だった。

◀**ポケットモンスターグッズが大人気**　この年、子どもたちの人気をさらったのが〝ポケットモンスター〟だった。この〝ポケモン〟は、もともとはゲームソフトのキャラクターだったが、マンガやテレビアニメで大人気キャラクターとなった。この年1月からスタートしたトミーの「モンスターボールコレクション」は、ポケモンのフィギュアシリーズで、毎月違うキャラクターが発売された。価格は税別で280〜480円。

◀**行列して買うワッフル**　「マネケン　ベルギーワッフル」がこの年、大ブレイク。ワッフルはベルギーでは一般的な焼き菓子。ブリュッセルの観光名所・小便小僧(マネケン・ピス)にちなんで名づけ、ローゼンが日本人向けに改良し大阪で売り出していたが、前年末に東京第1号店を新宿東口にオープン。若い女性の間に口コミで広がり、あっという間に長蛇の列ができる超人気商品となった。価格は税別で120〜140円。

▲▶**モノクロ写真よりさらに人気**　この年の2月にコニカから発売された「撮りっきりコニカもっとMiNiフラッシュ　セピア」は、セピアプリント専用(写真左)のレンズつきフィルムで、そのレトロな雰囲気が女子高生に受けて、月間販売数20万本と大ヒット。カラーが当たり前の世代にはかえって斬新に映り、人気を呼んだ。価格はオープンプライス。

▼**リラックスできる香りがブームを呼んだ**　この頃、香りで癒しを得る〝アロマテラピー〟が、女性の間で人気に。植物の有効成分を抽出した「エッセンシャルオイル」を湯にたらすと、その香りが脳を刺激し、緊張緩和をもたらすというもの。写真はグリーンフラスコ製のエッセンシャルオイル。各1000〜4800円。

▲**モバイルのトップシェア機器**　この年の7月、シャープから発売された「パワーザウルスMI－500」シリーズは、世界最小のカラーモバイル(携帯型)コンピュータとして人気を呼び、半年で40万台を超える売り上げを記録した。重さ320グラムという超コンパクトサイズで、表計算やワープロソフトを搭載、手書き文字も認識でき、価格は税別で10万〜16万8000円(写真)。

▶授賞式で金獅子賞を手にVサイン。北野武は、「お笑いでバカをやれば、その分シリアスなことがしたくなる。そのひとつが映画」、だから「お笑いはやめない」と語る。 AP WWP

人物クローズアップ

北野 武（五〇）

「ツービート」から映画監督に 七作目でベネチア金獅子賞！

平成九年九月六日、イタリアのベネチアで開かれた第五四回ベネチア国際映画祭において、北野武監督（五〇）の「HANA—BI」が、審査員の圧倒的な支持を得て、グランプリにあたる金獅子賞を受賞した。

「北野武」の名はヨーロッパの映画界ではすでに広く知られており、現代の映画界をリードする、最も重要な日本人映画作家の一人と位置づけられている。説明的描写と台詞（せりふ）を徹底的にはぶいた映像、人間の奥底にひそむ衝動を、抑制された表現によってえぐり出す演出力への評価は高く、ベネチア映画祭でも、北野作品は当初から本命視されていた。

殺人事件の捜査中に同僚を殉職させた責任から、刑事を辞め、不治の病に冒された妻に付き添う男。一方、犯人に撃たれ、半身不随になって家族に捨てられた同僚刑事。この二人を対比して、生と死の問題を問う受賞作は、北野の第七作目にあたるものだった。そして北野は、この作品で黒澤明（昭和二六年「羅生門（らしょうもん）」）、稲垣浩（昭和三三年「無法松の一生」）に続く、日本人三人目のベネチア映画祭グランプリ監督となったのである。

北野武は、昭和二二年一月一八日、東京都足立区生まれ。子どもの頃の北野は遊びの天才だった。メンコもベーゴマも、勝った相手から取り上げたのが家にざくざくあった。遊び仲間と家を出たら最後、暗くなるまで帰ってこない。だから学校の勉強なんかしている暇はなかった。二人の兄は秀才、末弟の北野はガキ大将。

昭和四〇年、明治大学工学部機械科に現役で入学。ところが四二年に中退。転転とアルバイトなどをしながらもぐりこんだのが、浅草のフランス座。四七年、ストリップの幕間（まくあい）をつなぐため舞台に上がるようになり、翌年、ここで知り合った兼子二郎と、漫才コンビ「ツービート」を結成する。折からの漫才ブームの波に乗り、北野、いや「ビートたけし」の名が大衆に強烈な印象を与えることになったのは、世間の常識や建て前にひそむ本音の部分を鋭くついた逆説的な毒舌と、ブラックユーモアだった。

北野と映画とのかかわりは、昭和五八年、大島渚（なぎさ）監督の「戦場のメリークリスマス」に、日本兵の役で出演したのが最初である。この時の演技が高い評価を得て、俳優としての地位を確立。そして最初の監督作品は、深作欣二（ふかさくきんじ）監督降板の後を受けてメガホンをとった「その男、凶暴につき」だった。この作品で日本アカデミー賞話題賞を受賞、以降、映画作家として、北野は独自の世界を切り開いていくことになるのである。

グランプリを獲得した時の感想を、北野は次のように語る。

「何年も前から、自分の映画は国内より海外での評価の方が高かったから、『あ、やっぱりそうなの』って感じだった。もともと賞なんてあまり意識しなかったけど。ただ、日本人として三九年ぶりの受賞っていうことの方が驚きだった。日本に帰ってからマスコミにも騒がれたし、興行成績にしてもすごくよかったけど、それはベネチア効果とでもいうか、結局、日本人って海外での評価を逆輸入するような形でしか、自分たちの価値観を決定できないのかって思うよ」

日本人の文化の受けとめ方に対する、北野の実感である。

「海外での評価を意識した映画作りなんて、結局欧米人にはすぐ見抜かれて、馬鹿にされるだけだって思ってるから、今後も自分のやりたいことをやるだけだね」

オフィス北野提供

▲「HANA—BI」には、バイク事故をきっかけに描き始めた水彩画が、随所に盛りこまれている。右は共演の岸本加世子。

◀「世界まる見え！ テレビ特捜部」に出演。珍製品〝ザ・ぶとん〟の座り心地を試してみる。 日本テレビ提供

決定的瞬間

二九三枚の鉄の扉が落下 歓声と溜息が交錯する中 諫早湾は閉め切られた！

◀遠隔操作によって、鋼鉄製の扉が次々と海中に落とされる。「諫早」は、「長良川河口堰」に次いで、自然環境保護運動のシンボルに。

共同通信社

四月一四日、長崎県・諫早湾奥部の日本最大と言われる干潟をおおう海面は、ちょうど満潮の時刻にあたり、波も静かで、うららかな春の日射しに輝いていた。

その沖合の海面が突然、大きな音と水しぶきを立てながら横に分割された。幅三・七メートル、高さ六・三メートルの鋼鉄製の扉二九三枚が架台から海中に落とされたのだ。

湾奥部では、諫早湾干拓事業（正式には「総合的干拓事業」）が起工して八年目を迎えようとしていた。その第一段階が、湾岸の高来町金崎名と対岸の吾妻町平江名とを結ぶ、南北約七キロの潮受け堤防を建設して、湾奥部を閉め切ることである。

この日行われたのは、「潮止め」と呼ばれる堤防中央部約一・二キロの、開口部閉め切りの仮工事だった。

最大約六メートルにもなる激しい潮の干満と遠浅の地形は、この地に豊かな干潟を育んだ。この干潟には、絶滅が心配される湿地性植物・シチメンソウの日本最大の群落があるのをはじめ、環境庁の「レッドデータブック」で「絶滅危急種」に指定されているハゼ科のムツゴロウなど貴重な生物が生息している。

外海と閉ざされることにより、貴重な生物の棲む干潟は消滅する。この潮止めをめぐって、大きな議論がもちあがっていた。湾岸の旧干拓地の農家や長崎県などは、防災対策や農地造成を進めるため潮止めの早期実施を訴えていたのに対し、環境保護団体などは事業の見直しを求め、長崎地裁に工事差し止めの仮処分を申し立てるなどの動きも起こしていた。

情勢を見守り、潮止めを延期していた農水省は、結局、四月一四日の潮止め実施を決定した。この日、吾妻町平江名の南部排水門特設会場で「潮止め式」が行われ、そのメインイベントとして、高田勇長崎県知事ら一一人の代表が潮止めスイッチを押すセレモニーが行われたのである。

沖合の水しぶきを見とどけた会場の人人から大きな拍手が起こる。参加者の一人は、「こうした施設があれば、あの悲劇はなかった」と、八五六人の死者、一三六人の行方不明者を出した昭和三二年の諫早大水害を思い起こしていた。一方、会場ゲート前に詰めかけた抗議の住民や自然保護団体の関係者の中からは、悲鳴と怒号が同時に上がった。

諫早湾は過去数百年にわたる干拓の歴史を持っている。平地の少ないこの地方に住む人々は、干拓によって干潟を農地に変えてきた。激しい潮流と湾に注ぐ河川は、その後もさらに大量の土砂を運び、新しい干潟を作る。そして土砂の一部は干拓地の堤防の前面にうずたかく堆積し、背後地よりも高くなる。これが干拓地の水の流れをせき止め、排水をはばみ、そして洪水被害を起こしやすくする最大の要因となってきた。それを改善し、新たな土地を得るために、さらに干拓を行う。こうした営みが過去数百年間にもわたって続けられてきた。今日まで干拓と干潟が共存できたのは、ひとえに「地先干拓」という伝統的な手法が採用されていたことによるものだ。

しかし、今回の干拓事業は、潮受け堤防で湾を閉め切り、調整池をはさんで内部堤防を築く「複式干拓」を採用した点が、過去とは決定的に異なっていた。

「干拓は防災や排水対策から必要だと思う。問題は、根拠も効果もあいまいなまま、干潟の存続を許さない『複式干拓』を採用したことです」

諫早干潟緊急救済本部代表世話人の山下弘文さんは、その問題点をこのように語る。

閉め切りから一年後、干潟はすっかり乾き、いたるところに草が生え始めていた。それでもまとまった雨が降ると、水たまりにはムツゴロウが姿を現す。調整池はほどなく淡水化すると見られていたが、一部はなお汽水（海水と淡水の混合）域のような状況を呈し、生活排水による汚染が目立つなど新たな懸念も生まれている。

このため、環境保護派などからは、排水門を開け海水を入れるべきだという議論が起こった。しかし、農水省は門の開放に慎重な姿勢を見せたままだ。諫早湾をめぐる葛藤は現在もなお続いている。

▲5月17日、外海から閉ざされた干潟でジャンプするムツゴロウ。

朝日新聞社

美の出会い

「ルーブル美術館展」で一〇〇万人近い入場者が味わった〝発見の喜び〟

◀シャルダン「死んだ野兎と火薬入れと獲物入れ」。1726〜30年。油彩・キャンバス、98.5×77センチ。シャルダンの静物画は、後のセザンヌにも大きな影響を与えている。

平成九年四月一九日から七月一三日まで、東京・上野公園内にある東京都美術館で「ルーブル美術館展――一八世紀フランス絵画のきらめき」が開催された。日本では比較的なじみのうすい一八世紀フランス絵画の展示だったが、初日の朝九時には、一〇〇人近くの行列ができ、最終日までの入場者は五二万人を超える大盛況となった。

その後巡回した京都市美術館でも、八月二日から一〇月一二日までの間に、四〇万人を超す入場者があった。

出品作は、膨大なルーブル美術館のコレクションのうち、フランス絵画が最も輝いた時代と言われるロココから新古典主義の時代まで、五一人の画家の油彩画七七点が選ばれた。ヴァトー、ブーシェ、フラゴナール、シャルダン、ダヴィッドなどの有名画家の作品から、日本ではあまり知られていないが彼らに劣らぬ才能を発揮したヴェスティエ、ドラポルトらの作品のほとんどが、フランスを初めて離れ、日本での初公開となったのである。

日本で開かれる西洋美術展では、ミレーに代表されるバルビゾン派や、モネ、ゴッホ、セザンヌらの印象派・後期印象派の人気が圧倒的だった。ところが一八世紀フランス絵画に、合わせて一〇〇万人近い入場者があったことは、驚異的である。東京都美術館の学芸員・河合晴生氏は、記録的な入場者数となったことの大きな理由は二つあると言う。

「ひとつには、主催者の読売新聞社の宣伝が徹底していたこと。さらにNHKが密着取材し、教育テレビの『日曜美術館』だけでなく、衛星放送のプライムタイムで放映したことが大きかった。もうひとつは、ルーブル美術館という名前の大きさです」

展覧会の内容が、一般の観客に十分楽しめるものだったことも、しり上がりに入場者数が伸びていった理由であろう。「家具やファッションで、ロココ調になじんではいたものの、絵画を目のあたりにして、新鮮に感じたのではないでしょうか。また日本人には、やや重い感じのする歴史画や宗教画だけでなく、風俗画や風景画、静物画も出品されており、歴史的背景を知らなくても、絵画として十分に楽しめたと思います」

たしかに、ポスターに使われたフラゴナールの「かんぬき」や、幻想的な肖像画として名高い婦人像「マリー＝マドレーヌ・ギマール」のほか、シャルダンやドラポルトの精密に描写された静物画は、理屈抜きに人々を魅了したのだった。

一八世紀のフランス美術は、ルイ一五世の宮廷や貴族の快楽的で優雅な日常生活を描いたロココに始まり、フランス革命から第一共和政に向かう激動の中で、現実的、道徳的な主題を扱う新古典主義が生まれた時代である。この時代の画家にとって、主題には厳格なランクづけがあった。最高位が歴史画、次が肖像画、最下位が静物画や風景画だった。

今回の展覧会では、この「ジャンルの位階」を尊重し、主題別に、

①雅びな宴

②神話・聖書・歴史の物語

③貴族・芸術家・庶民の肖像

④風景

⑤静物

⑥市民の風俗

といった六つに区分され、展示された。

読売新聞社と数年間にわたって、こうした分類や作品選定にあたってきたルーブル美術館のジャン＝ピエール・ギュザン絵画部長は、展覧会カタログの中で、一八世紀フランス絵画の多様性について述べるとともに、これらの作品を展示することの意味について記している。

「誰にでも知られた画家たちの有名な作品と並んで、当時は評判であった画家たちのあまり知られていない作品も展示されており、そのような作品は、日本の鑑賞者の〝発見の喜び〟のために特に選ばれたものなのである」

こうしたルーブル美術館や主催者側の意向に、日本人は一〇〇万人におよぶ入場者数をもって賛同の意を表した。

▼フラゴナール「かんぬき」。1778年頃。油彩・キャンバス、73×93センチ。恋する男がドアのかんぬきを閉めようと、手を伸ばした瞬間を描いたこの作品は、展覧会の目玉のひとつとなった。1974年に発見され、ルーブル美術館に収蔵されていたもの。

▲4月19日に開幕した「ルーブル美術館展」の入場者数は、東京都美術館開館以来2番目の大入りとなった。 読売新聞社

20世紀博物館

宝くじドリーム館

東京・千代田区

高額当選者は年に四三〇〇人！ 文字どおり庶民の「夢」の歴史をたどる

桑原茂夫

▶抽選機のいろいろ。左は数字の入った円盤に向かって矢を射る「手動式風車抽選機」。昭和三〇年頃まで使われていたもの。

山口隆司

庶民に夢を売る宝籤の歴史や、売り上げなどのデータが展示されているほか、宝籤の抽選をリアルタイムで行うコーナーもあるのだから、日本の宝籤のすべてがここには備わっている。

中にはびっくりするような情報もある。一年間に一〇〇〇万円以上の賞金が当たる人はどれくらいいるかという統計には、平成八年実績で四三〇二人と示されていた。これを一日に換算すると、なんと一二人弱もいることになる。さらに賞金を一〇〇万円に下げると、当選者数は一気に三万人余に跳ね上がり、毎日一七分に一人が一〇〇万円当選の幸運に酔いしれていることになる。これでは宝籤さえ買えば、誰でも当たりそうではないか！

もちろん当たらなかった人の方が圧倒的に多いのだから、数字の魔術にまどわされてはいけない。そうはわかっていても売り場に並んでしまうところが、宝籤の宝籤たるゆえんであろう。

ところで、その宝籤が始まったのは戦後のこと。江戸時代には「富籤」があったが、天保の改革で禁止され、明治時代に入るや、さらに厳しく禁じられた。まるまる一〇〇年間、公の籤はなかったのである。しかし終戦直前の昭和二〇年七月、政府は軍事費調達の目的で「勝札」を発行した。これが宝籤復活のきっかけとなる。勝札は一枚一〇円で、一等賞金一〇万円だったが、八月二五日の抽選前に終戦を迎えたため、勝札ならぬ〝負札〟だと揶揄された。

しかし、政府もしぶとい。同じ一〇月には「政府第一回宝籤」を発売し、闇物資などで儲けた連中から、その〝浮動購買力〟を吸収しようとくわだてたのである。かくして公認の籤である「宝籤」が生まれた。

このドリーム館にはその時の宝籤券をはじめ、その後に続く「野球籤」や「相撲籤」など、勝負の帰趨を当てる、まさにトトカルチョにほかならなかった宝籤や、昭和二三年の福井地震の復興資金にあてるために発行された初めての地方籤などが展示されており、ひとくちに宝籤とは言うものの、実にいろいろな目的や方法で発売されたものだ、とあらためて感心させられるのである。

ちなみに宝籤の一等賞金は、一枚の売値の二〇万倍までと決められている。一枚三〇〇円なら一等六〇〇〇万円までということになる。ところがこのドリーム館を取材中、館内のテレビからニュースが流れてきて、平成一一年四月からはこの二〇万倍が一〇〇万倍に引き上げられ、一等賞金が三億円になることが国会で決議されたという。この不景気に、高額宝籤で庶民に夢を持たせようという政府のやり方には、大いに驚かされた。

宝くじドリーム館提供

▲江戸時代に寺社で行われていた「富籤」の札。幕府公認で、寺社の修復費用調達のためという大義名分があった。

▼昭和30年代は宝籤の人気が今ひとつで、写真のような景品をつけて購買欲をそそった。売れない時期もあったのである。

山口隆司

宝くじドリーム館提供

▲手前のケースに、時代を追っていろいろな宝籤券が並べられている。写真右奥で、週3回、公開抽選会が行われる。

●宝くじドリーム館
千代田区内幸町一—一—一
☎〇三—三五九五—一一九二
都営三田線内幸町駅から徒歩一分
開館時間＝一〇時～一九時（月・水・金）、一八時（火・木・土）
休館日＝日曜日、年末年始、祝日（日曜日が祝日の場合は翌日）
入館料＝無料

かたや内外で5000万個、かたや女子中高生の名刺がわり

少女たちの〝つながり願望〟と「たまごっち」「プリクラ」大ブーム！

◀3月22日、一般公開された「'97東京おもちゃショー」でも、「たまごっち」は圧倒的な人気を博し、展示コーナーでは入場制限が行われた。

共同通信社

平成九年は、女子中高生を中心に爆発した、二つのブームで幕を開けた。いずれも三〇代初めの女性によって発案された、「たまごっち」「プリクラ」人気である。このブームは、もうひとつのブームを呼んだ携帯電話・ＰＨＳも含め、人間関係が希薄な時代の「つながり願望」がもたらしたものと分析されている。

品切れが当たり前 宮沢元首相も行列

「もしもし、『たまごっち』は今度、いつ、どこで買えるんですか」

「どこに行っても『たまごっち』がない。会社に直接、うかがいますから、一個くらい何とかならないでしょうか」

平成九年の年明け、東京・台東区にある玩具メーカー・バンダイ本社には、女子中高生を中心に、明けても暮れても電話の問い合わせがとだえることがなかった。一日平均で二万本の電話が殺到し、業務に手がつかないありさまだった。

前年の平成八年一一月二三日に発売された、ペットを育てる携帯ゲーム機「たまごっち」が、売り出し直後から、女子中高生の間で、大ブレイク、各地で一大騒動が繰り広げられたのである。

◀平成八年一一月二三日、六色の「たまごっち」が、定価一九八〇円で売り出された。

バンダイ提供

▶ハマの大魔神・佐々木も練習の合間に熱中。9歳まで育てたが、新外国人・キャンベルが勝手にボタンを押して死なせてしまったとか。 スポーツニッポン新聞社

たとえば、平成九年二月一一日に五〇〇個入荷した名古屋のデパートでは、混乱をおそれ、事前にいっさいPRをしなかったが、前日午後九時頃から行列ができ始め、整理券を配った午前六時には七〇〇人がぎっしりと並んでいた。そして全国いたるところで、品不足によるパニックが繰り返された。デパートの「たまごっち」専用テレホンサービスは、つながる方が稀と言われたほどである。

「当初の生産量は三〇万個、それが四ヵ月くらいで売れてくれればというつもりでした」と言うのは、「たまごっち」の発案者でバンダイ玩具第一事業部所属の真板亜紀さん（現・三三歳）である。だが、"生みの親"の期待をはるかに上回り、品切れが当たり前という、てんやわんやの大騒動を引き起こしたのだ。

宮沢喜一元首相が孫と一緒に原宿のキディランドで行列した。定価が一九八〇円なのに、金券ショップで堂々と三万円で売られていた。バンダイの株主優待プレゼントが発表された翌日の株取引が、いっきょに四倍に跳ね上がった……。

そして、たちまち便乗組が現れる。日本航空が利用客に、三ヵ月間毎月一万個を抽選でプレゼントしたところ、約一〇〇万人の応募が殺到した。『たまごっち母子手帳』なる解説書が五〇万部に迫るベストセラーになり、キャラクターグッズは四〇〇種にものぼる。NTT、森永製菓などがオリジナル「たまごっち」を作り、島根県警はホームページに「たまごっちコーナー」を登場させた。はてはパソコン通信を使った詐欺事件やら、暴力団による恐喝事件、「たまごっち恐喝」の中学生を神奈川県警がヘリで追跡する事件まで起きる始末。

予想外の「たまごっち現象」を巻き起こしたこの大ヒット商品は、国内で二三〇〇万個販売されただけでなく、アメリカの八〇〇万個を筆頭に、二四一〇万個が輸出され、内外合わせると約五〇〇〇万個（約九三三億円）という驚異的な販売個数となったのである。

「プリクラ」シールがステータスシンボル

「たまごっち」と時を同じくして、異常なフィーバーぶりを示したのが「プリクラ」こと「プリント倶楽部」だった。

一回三〇〇円を投入すると、一六枚の顔写真シールが一分後に現れる。それだけの、他愛ないと言えば他愛ないものが、あっという間に日本のみならず世界を席巻してしまったのである。「プリクラ」第一号が登場したのは、平成七年七月のこと。「たまごっち」「プリクラ」に共通しているのは、発案者が三〇代初めの女性ということである。そのアトラス販売課の佐々木美穂さん（現・三二歳）は、「小学生の時から、シールが好きでした。口で言えばいいのに、隣の子に手紙を書いて、それに小さなシールを貼ったりするんです。それも一番オリジナリティがあるのは自分の顔ですから、これをシールにできたらというのが発想の原点です。ビデオカメラで撮影したものをプリンターでシール印刷するだけですから、新しい技術は何もないうえに、開発コストもほとんどかからなかったんです」と、アイディアの秘密を明かす。

「たまごっち」
国内外累計販売数
国内累計販売数
国外累計販売数
単位：万個
バンダイ提供

◀東京・渋谷センター街で、「プリクラ・シール丸くん」に群がる女子高生。背景の図柄がそこだけにしかない限定もの「プリクラ」の場合、行列ができることも。 朝日新聞社

「プリクラ」もまた、またたく間にローティーンの少女たちの心をつかみ、なくてはならないものとなる。「プリクラ」のシールは、大人の世界の名刺にも匹敵する必需品で、これを持っていなければ仲間はずれにされてしまうほどだった。中には、友達やその仲間と交換を繰り返し、数千枚のシールを貯めこんだ剛のものもいる。彼女たちにとって、「プリクラ」シールを何枚持っているかが、一種のステータスシンボルにさえなっていたのである。

一時期の爆発的ブームは去ったとはいえ、「プリクラ」シールは今も大人の世界にじわじわと浸透している。この人気に目をつけたあさひ銀行は、平成九年の年末ボーナス期限定で、新規や三〇万円以上の預金者に、「プリクラ」が無料で使えるサービスを一部の支店で始めた。これが予想以上に好評で、三月末まで期間を延長した。人気にあやかろうと無駄骨を折ったのは、政府だった。橋本龍太郎首相の政権末期、人気回復策の一環として、首相とのツーショットが作れる「プリクラ」機が導入されたが、成果がないまま退陣を余儀なくされた。

販売元のアトラスは、一台一二二万五〇〇〇円の本体を、平成一〇年三月までに約二万二〇〇〇台出荷した。「プリクラ」のシールや印刷リボンなど消耗品の売り上げは、最盛期には一日七〇〇〇万円に達したという。

これらのブームの背景を、ジャーナリストの日垣隆氏は次のように分析する。

「『たまごっち』『プリクラ』、そして携帯電話・PHSが少女たちの必携品でした。この三者に共通しているのは、仲間とのつながりを確認したいという願望ではないでしょうか。彼女たちは、共通の話題で盛り上がることを好む。ただ、一方では、突っこんだ深い話をしなくなっている。『プリクラ』シールをお互いに交換し、『たまごっち』の話題で盛り上がり、仲間であることを確認しあっても、相互の関係は非常に希薄なのではないでしょうか」

▶広島市の観音院では、死んでしまった「たまごっち」供養のため「インターネット霊園」を開設。 吉尾健児「アエラ」朝日新聞社

フォト＋日録で再現する365日

時事通信社

▲病院が診療報酬詐欺（7月18日）大阪地検と府警が、住吉区の安田系3病院など十数ヵ所を捜索。看護職員を水増しして、総額20億円も不正受給していた。

▲ポル・ポト（69）に終身刑（7月25日）カンボジア北部で開かれた「人民裁判」で、裏切り者と指弾。この模様が米国のテレビで放映されたが、元首相の面影はなかった。翌年、死亡する。

ロイター／サンテレフォト

AP／WWP

▶ゲバラの遺骨、キューバへ（7月12日）キューバ革命の英雄で、南米・ボリビアで殺された革命家が30年ぶり帰還。写真は、かつての同志を迎えるカストロ議長。

▼浜口京子（19）、世界チャンプ（7月12日）フランスで行われた女子レスリング世界選手権75キロ級で、念願を手中にした。父は元プロレスラー・アニマル浜口。写真は、優勝直後の父娘。

AP／WWP

共同通信社

▲京都駅ビルが完成（7月12日）高さ約60メートル、地上16階でガラスを多用。設計、原広司。「景観を壊す」という根強い批判の中、誕生した。

▼火星のパノラマ（7月22日）NASAが探査機「マーズ・ファインダー」の着陸船から撮った写真を合成して発表。中央に探査車「ソジャーナー」が見える。

平成9年7月

1（火）●英国、香港の主権を中国に返還。
2（水）●米国、未臨界核実験を強行（9月18日にも）。
3（木）●皇后、帯状疱疹（ヘルペス）で東京逓信病院に緊急入院。公務の過密が問題に（12日退院）。
4（金）●NASAの探査機が火星への軟着陸に成功。
5（土）●プノンペンで戦闘、日本人一人含む死者多数。
6（日）●金田康正東大教授ら、超並列計算機で円周率五一五億三九六〇万桁まで計算に成功。
7（月）●総務庁、特老ホームなど社会福祉法人の九割が会計管理など問題多いと厚生省に改善勧告。
8（火）●北朝鮮で故・金日成主席死去三周年追慕大会。
9（水）●自衛隊機、政変のカンボジア在住邦人救出のため待機（11日、タイへ出発。17日、撤収）。
10（木）●鹿児島県出水市で土石流発生。死者二一人。
11（金）●都市銀行など一三行、総会屋との絶縁決める。
12（土）●宮崎駿原作・監督の「もののけ姫」封切（大ヒット、年末までの配給収入一〇七億円）。
13（日）●香川・土庄町豊島の住民、産廃問題で県と合意。
14（月）●米国、北朝鮮へ一〇万トンの食糧援助を決定。
15（火）●公立高校の海外修学旅行、二〇〇校を超す。
16（水）●日本テレビで、女性アナ宛の郵便物が爆発。
17（木）●インド大統領に被差別階層出身のナラヤナン。
18（金）●羽田空港、二四時間運用を開始。
19（土）●アイルランド共和軍（IRA）、停戦を宣言。
20（日）●沖縄の知事諮問機関が、二〇一一年に県全域を自由貿易地域に指定する最終報告書を提出。
21（月）●市民オンブズマン全国大会で、前年度まで二年間の公共工事の九割が談合疑惑と報告。
22（火）●防衛庁、内局（私服組）優位の訓令を廃止。
23（水）●NTT、相手番号表示実施を翌年二月と決定。
24（木）●英で人間の遺伝子持つ羊「ポリー」が誕生。
25（金）●公立校の学校行事の削減目立つと文部省調査。
26（土）●山梨県上九一色村のオウム真理教跡地に、テーマパーク「富士ガリバー王国」が開園。
27（日）●寺山修司記念館、青森県三沢市に開館。
28（月）●二三年間トップの「少年ジャンプ」の部数急落、「少年マガジン」と並ぶ、と新聞に。
29（火）●松山市ホステス殺人事件の容疑者、福田和子を時効まで二〇日にして福井市内で逮捕。
●熊本県、水俣湾の安全を宣言。四二年ぶり（8月、仕切り網撤去、二三年ぶり漁場復活）。
30（水）●中堅ゼネコンの多田建設が倒産。ゼネコン各社の不良債権による経営ゆき詰まり深刻。
31（木）●住都公団、売れ残り住宅の値引き販売を決定。

証言・あの日この日
草野満代（30）

9月27日（土）〈午前中、だらだら掃除。午後、TBSで打ち合わせ。夜、銀座で中華料理。老酒（ラオチュウ）を飲んだら、かつて〝酒豪アナ〟といわれた私ともあろうものが、体中、じんましんのように真っ赤になる。これも体全体で緊張している現れか〉（草野満代「わたしの月間日記」）

共同通信社

ＮＨＫのニュース番組のキャスターとして人気になった草野満代アナウンサーは、この年ＮＨＫを退社、ＴＢＳの「ＮＥＷＳ23」のキャスターをつとめることになった。しかし移籍はスムーズにはいかず、マスコミの餌食（えじき）となり、非難、中傷の情報が飛びかう。この日は、2日後に初日を控え、いよいよ緊張感が高まってくる。しかし、翌日はサッカー・ワールドカップ予選「日韓戦」を観るため国立競技場へ行く余裕も。時代の先端を走る女子アナとして、負けるわけにはいかないのだ。（山崎行太郎）

▶教科書裁判で最高裁が検定違法判決（8月29日）第3次訴訟を起こした元東京教育大教授・家永三郎（83）の主張に対し、「731部隊」の記述など4ヵ所の正当性を認定。32年間続いた訴訟を終えた。

朝日新聞社

共同通信社

◀「お母さんに会いたい」（8月6日）ソウル発の大韓航空機が、グアム島で墜落。乗客ら254人のうち28人救助。写真はその一人で、母親が死亡した静岡県の小学5年生。

▶鼠小僧の「被害リスト」発見（8月30日）石川・七尾の旧家から。縦16・横94センチの和紙に、江戸大名屋敷41家がずらり。総額は、現在の価格で約7000万円になった。

共同通信社

時事通信社

▲改築費12億円の東京都知事公館公開（8月19日）高級住宅地・渋谷区松濤にあり、地上2階・地下1階の「豪邸」。9月、〝庶民派〟青島幸男知事が都民の批判の中、引っ越した。

共同通信社

▲永山則夫（48）の死刑執行（8月1日）19歳で連続射殺魔となった罪を、みずから追及し続けた彼の死は重かった。写真は、葬儀で遺影に向かう弁護人の遠藤誠。

NASA／ユニフォト・プレス

平成9年8月

1（金）●連続射殺魔事件の永山則夫ら四人の死刑執行。
2（土）●熊本市、超低床式路面電車を国内で初運行。
3（日）●中日の宣銅烈投手、一八試合連続セーブポイントのリーグ新を記録。
4（月）●局長以上の二年間天下り全面禁止と人事院。
●大阪府、府債残高が三兆円突破と発表。
5（火）●タイ政府、通貨危機で国際通貨基金（IMF）に支援要請。東南アジアの通貨危機本格化。
6（水）●グアムで乗員・乗客二五四人の大韓航空機墜落、日本人少女一人を含む二八人を救出。
7（木）●六月までに刑法犯で逮捕・補導の少年は、前年比二〇・五％増の六万九六四六人と警察庁。
8（金）●茨城県下館市でJAの現金輸送車が二人組に襲われ、二億二二〇〇万円を強奪される。
9（土）●鈴木博美、アテネの世界陸上マラソンで優勝。
10（日）●福岡県警、春日市の小学二年女児行方不明で二四歳の男を逮捕。自供で少女の遺体発見。
11（月）●旧日本軍の「細菌戦」被害者ら中国人一〇八人が、損害賠償求め東京地裁に提訴。
12（火）●アジアの不振で世界経済が減速と貿易振興会。
13（水）●JOC、二〇〇八年五輪候補地を大阪と決定。
14（木）●山一証券の顧客相談室長が東京で刺され死亡。
15（金）●日中航空交渉、増便と乗り入れ地拡大で合意。
16（土）●女子プロレスのプラム麻里子、前日の広島市の試合で頭部を強打し死亡。初の事故死。
17（日）●第一回高校女子硬式野球大会、夙川学院優勝。
18（月）●消費者金融の全情連、全国約一二〇〇万人の個人信用情報管理システムを稼動。
19（火）●北朝鮮で開発機構供与の軽水炉、起工式。
20（水）●パリ市、大気汚染対策で公共運賃を半額に。
21（木）●日朝交渉予備会談、北京で五年ぶりに開催。
22（金）●神戸市行政職員試験に外国籍の二人初の合格。
23（土）●中国・三峡ダム工事入札で日本企業連合敗退。
24（日）●変造五〇〇円玉の自販機荒らし、全国で四万枚。
25（月）●全国盲学校野球大会、東京で三一年ぶり再開。
26（火）●建設省、全国一八ダムの建設中止・休止を発表。
27（水）●気象庁、富士山の気象レーダー廃止を決定。
28（木）●神戸市のホテルで山口組幹部が射殺（以後、報復の発砲事件相次ぎ年末までに二七件）。
29（金）●最高裁、家永教科書訴訟で検定個所の違法認め、国に賠償命令。三二年間の訴訟終結。
30（土）●英・比外相、幼児買春追放協力の覚書に調印。
31（日）●ダイアナ元英皇太子妃、パリのトンネル内で交通事故死（9月6日英で異例の「国民葬」）。

▶佐藤孝行総務庁長官、辞任(9月22日)ロッキード事件の罪人を入閣させた、橋本内閣に非難轟々。写真は19日、支持者の手紙を掲げ強気だった佐藤。

◀ダイアナ元英皇太子妃、国民葬(9月6日)36歳の若さで事故死して1週間。葬儀場のロンドン・ウエストミンスター寺院を、数百万の人波が囲んだ。

共同通信社

ロイター/サンテレフォト

共同通信社

▲高橋由伸、リーグ新23号(9月28日)東京六大学野球・慶大のスラッガーが、対法大戦で19打席目の一発。29年ぶりに田淵幸一(当時・法大)の記録を破った。

▼百済観音、パリで公開(9月9日)ルーブル美術館で、日仏国宝級美術品交換展を開催。飛鳥時代の奈良・法隆寺の国宝に魅せられたシラク大統領(右端)は、20分も鑑賞した。

朝日新聞社

▶ヤオハンジャパン倒産(9月18日)中国など海外に27店のスーパーを出店するなど、積極展開をしてきたが、結局、過大な投資が裏目。静岡地裁に会社更生法を申請した。写真は、謝罪する同社幹部。

◀「丸ビル」解体始まる(9月10日)東京駅の真ん前にあった代表的な大正建築が、またひとつ消える。新しい耐震基準に達していないため、所有者の三菱地所が取り壊しを決めたもの。築75年だった。

朝日新聞社

共同通信社

平成9年9月

1(月) ●医療保険改革で高齢者など医療費引き上げ。
2(火) ●埼玉県、職員の旧姓使用を認める。
3(水) ●日中両国、新漁業協定に実質合意。
4(木) ●東京都、少子化で都立高三〇校削減方針策定。
5(金) ●IOC総会、二〇〇四年五輪はアテネと決定。
6(土) ●北野武監督の「HANA-BI」、ベネチア国際映画祭で金獅子賞受賞。日本人で三人目。
7(日) ●新潟県巻町で「公約違反」町議のリコール成立。
8(月) ●東京カテドラル・大聖堂で五日死去のマザー・テレサ追悼ミサを一四〇〇人が参列して開催。
9(火) ●ルーブル美術館で法隆寺の百済観音像を公開。
10(水) ●小中高校の「保健室登校」が六年間で倍増し、全国で約一万人、中学生が多いと文部省。
11(木) ●国内最大規模の新京都駅ビルが開業。
12(金) ●中国共産党大会、株式制推進を採択(~19日)。
13(土) ●トマト受粉用の外国産蜂が野生化、生態系を乱すため輸入商社が在来種開発へ、と新聞に。
14(日) ●七〇歳以上の高齢者、総人口の一割超と判明。
15(月) ●福島県安達太良山で四人、火山性ガス中毒死。
16(火) ●社民党などがロッキード事件で有罪の佐藤孝行新総務庁長官の罷免を要求(22日、辞任)。
17(水) ●山一証券の元専務ら幹部五人、総会屋への利益供与で逮捕される(24日、前社長も)。
18(木) ●ヤオハンジャパンが倒産、会社更生法申請。
●最高裁、統一教会の「霊感商法」を違法と判決。
19(金) ●マレーシア政府、山火事煙霧で非常事態宣言。
20(土) ●香港で開催のG7、日本に内需拡大を要請。
21(日) ●欧州産の自然塩はミネラルが豊富などと、自由化された輸入の塩に人気、と新聞に。
22(月) ●京王電鉄、約九%の運賃値下げを申請。
●農水省、補償金支出など棚田対策を決める。
23(火) ●日米両政府、新しい日米防衛協力のための指針(ガイドライン)に合意。中国が強い懸念。
24(水) ●ガソリン、一ℓが全国平均一〇一円で最安値。
25(木) ●共産党の宮本顕治議長、退任。名誉議長に。
26(金) ●インドネシア・スマトラ島でガルーダ航空機が煙霧のため墜落。二三四人全員死亡。
27(土) ●住友信託銀行、米・シティバンクと業務提携。
28(日) ●慶大の高橋由伸、二三本塁打で二九年ぶりに東京六大学リーグ新記録を更新。
●那覇市で一万人が避難し沖縄戦の不発弾処理。
29(月) ●豪の銃強制買い上げの締め切り前に六〇万丁。
30(火) ●日本たばこ協会、未成年者の喫煙防止策として翌年四月からCM中止を申し合わせ。

共同通信社

▲「もののけ姫」配収日本新(10月30日)「E.T.」の96億円を抜き、観客1120万人を集めた。写真右が、究極のアニメを追求、自然と人との壮大なドラマを作った宮崎駿監督。

朝日新聞社

AP/WWP

▲海底でエジプト遺跡(10月22日)仏・エジプト合同チームが、アレクサンドリア港で、クレオパトラ築造という海底の王宮跡を発掘。スフィンクスなどを発見した。

◀断崖に不気味なまだら模様出現(10月)福島・広野町で20年間稼働した産廃処理工場跡地に出現。ずさんな処理で、廃油などが滲み出たもの。県は撤去を指導した。

共同通信社

▲ロールスロイス身売りへ(10月27日)親会社のビッカース社が発表。米・フォードに買収されたジャガーに続き、英国の名門がまた消滅。翌年6月、独・フォルクスワーゲン傘下に入った。

読売新聞社

▲小樽に巨大空母(9月5日)排水量8万トン、全長326メートルの米艦「インディペンデンス」。民間港への米空母接岸は初。「日米防衛協力のための指針」の先取りだった。5日間の滞在中、36万人の見物人が集まった。

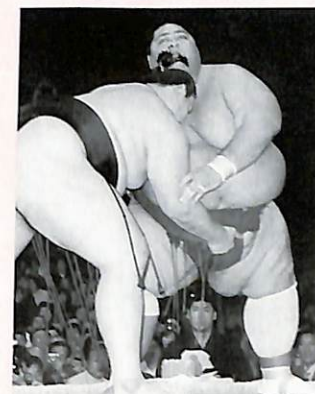
▶非政府組織にノーベル平和賞(10月10日)活動開始6年で世界的に拡大、毎年3万人近くが死傷する対人地雷の全面禁止を訴え続けた。写真は、世話人のウィリアムズ(左)ら。

PANA通信社

平成9年10月

1(水) ●長野新幹線「あさま」、開業。
●酒税改定で焼酎値上げ、ウイスキーは値下げ。
2(木) ●沖縄県名護市議会、米軍海上ヘリポート建設の是非を問う「市民投票条例」修正案を可決。
3(金) ●ゲートボール場がテニス場抜き一位と文部省。
4(土) ●日本サッカー協会、加茂周日本代表監督を更迭。後任に岡田武史コーチを任命。
5(日) ●「赤」ワインが人気で前年比二割増と新聞に。
6(月) ●国際柔道連盟総会、カラー柔道着導入を可決。
7(火) ●イトマン事件の許被告が韓国で入院と判明。
8(水) ●金正日が朝鮮労働党総書記に就任。
9(木) ●東京都議会、買春への処罰を含めた青少年健全育成条例改正案を可決(12月16日施行)。
10(金) ●ノーベル平和賞、非政府組織(NGO)と、世話人のジョディ・ウィリアムズに。
11(土) ●市場直送を目的に各地に開設の「農道空港」が全体に不振で翌年の建設計画は零と新聞に。
12(日) ●パリーグの観客が初の一〇〇〇万人を突破。
13(月) ●フジテレビ、プロ野球中継延長に抗議した「ダウンタウン」の番組を打ち切ると発表。
14(火) ●郵政省、電話料金の認可制廃止、自由化を決定。
15(水) ●トヨタ、ガソリンエンジンと電気モーターを組み合わせたハイブリッド車「プリウス」発表。
16(木) ●臓器移植に限り脳死を認める臓器移植法施行。
17(金) ●一九閣僚中女性九人のノルウェー新内閣発足。
18(土) ●米国の公立校で制服の採用広がる、と新聞に。
19(日) ●上場企業のボーナス七四万円と民間調査機関。
20(月) ●米司法省、マイクロソフト社の抱き合わせ販売を反トラスト法違反で提訴。
21(火) ●自民党、土地流動化など緊急経済対策を決定。
22(水) ●国際相撲連盟、二〇〇八年五輪種目に申請へ。
23(木) ●香港株価がアジア通貨危機懸念し暴落(27日ニューヨーク市場、史上最大の下げ)。
24(金) ●三菱地所など三菱三社の総会屋への送金発覚。
25(土) ●大阪で国体開幕、初の外国籍選手が出場。
26(日) ●宮城県知事選で「脱政党」の現職知事が再選。
27(月) ●米国の財政赤字、前年度比七八・九%減に縮小。
28(火) ●大和証券の元総務部長らを総会屋への利益供与で逮捕(四大証券すべてに逮捕者)。
29(水) ●京都市、鴨川に架ける仏・シラク大統領提案のパリ風歩道橋建設計画を強い反対の中、告示。
30(木) ●南ア、対人地雷三〇万個の全廃作業完了。
31(金) ●西本願寺の国宝・北能舞台が修復し、人間国宝の観世銕之亟らが祝賀能を上演。

▲泉井純一被告、「献金疑惑」証言(11月28日)衆院で、自民党の山崎拓政調会長を通じた2億数千万円の献金を認めたが、泉井石油商会事件とのからみは否定。野党の追及をかわした。

時事通信社

▲小錦(33)、ついに引退(11月21日)九州場所を負け越し。ハワイ出身、275キロの巨体とユーモアで人気の元大関が、15年の土俵生活に別れを告げた。

報知新聞社

◀「寅さん記念館」開館(11月16日)渥美清が逝って1年、映画「男はつらいよ」の舞台となった東京・柴又に誕生した。写真は祝典で、中央が倍賞千恵子。

日刊スポーツ

▼日本人観光客ら67人死亡(11月17日)「王家の谷」で知られるエジプトのルクソールで、反政府のイスラム過激派6人が銃を乱射。死亡した日本人のうち、3組は新婚旅行中だった。

AP/WWP

読売新聞社

▲日本サッカー、W杯出場(11月16日)マレーシアで行われたアジア第3代表決定戦で、イランに3対2で勝利。岡田監督の積極采配で起用された岡野が、延長後半にこぼれ球を拾い、劇的なゴールを決めた。

◀拓銀、経営破綻(11月17日)バブル期の巨額融資から、1兆円近い不良債権を抱えた北海道拓殖銀行が、100周年を目前に幕引き。都銀初。政府の銀行護送船団行政が崩壊した。写真は、この日の本店店頭。

読売新聞社

平成9年11月

1(土)●上野動物園の初来日で世界最長寿ゴリラ死亡。

2(日)●仏でトラック運転手組合が賃上げスト、全土一三〇ヵ所の幹線道路封鎖(8日、解除)。

3(月)●天皇が初めて千宗室、宇澤弘文らの文化勲章受章者に手渡す「親授式」を挙行。

4(火)●『国民生活白書』、働く女性の環境整備を強調。

5(水)●清水エスパルス、二〇億円の累積赤字(27日、新会社を設立して存続方針決定)。

6(木)●東証でメリルリンチ証券が前月の売買シェアで初の首位に、二位も外資系、と新聞に。

7(金)●「付き合いがない」四割、「教授と話さない」六割と人間関係の希薄な学生増加と大学生協連。

8(土)●北朝鮮の日本人妻一五人、里帰り(~14日)。

9(日)●厚生省、医療費は過去最高の二七兆円と発表。

10(月)●一〇月のエルニーニョは最大規模と気象庁。

11(火)●李鵬中国首相来日、防衛交流促進で合意。
●ユネスコ、クローン人間作り禁止宣言を採択。

12(水)●法務省、日弁連など少年法改正協議で合意。

13(木)●三塚蔵相、整備新幹線着工の凍結を言明。

14(金)●環境庁、ワシミミズクを希少種に指定。

15(土)●石油公団で三四〇〇億円が回収不能と判明。

16(日)●サッカー日本代表、初のW杯出場を決定。

17(月)●北海道拓殖銀行、営業権を北洋銀行に譲渡し清算と発表。都市銀行初の経営破綻。
●エジプトのルクソールで観光客に無差別発砲テロ。日本人一〇人を含む六七人を射殺。

18(火)●那覇家裁、「琉」の字の出生届受理を決定。

19(水)●土井隆雄宇宙飛行士を乗せた「コロンビア」打ち上げ(24日、日本人初の船外活動)。

20(木)●体罰と猥褻行為の教員は、懲戒処分三九三人、免職六六人で過去最悪、と文部省。

21(金)●韓国、金融危機回避でIMFに支援を要請。

22(土)●小錦が引退の会見、年寄佐ノ山を襲名。

23(日)●ダイアナ元妃の遺産、約四六億円と判明。

24(月)●山一証券、自主廃業を決定。戦後最大の倒産。

25(火)●KDDとテレウェイ、翌年一〇月合併を発表。

26(水)●エイズ対策に問題多いと総務庁監察結果発表。

27(木)●熊本県の国営羊角湾干拓事業打ち切りを内容とする報告書を同県検討委が発表。年内廃止。

28(金)●東京都の税収、一〇〇〇億円減少と判明。

29(土)●埼玉県、中央官庁に帰任した出向組に、公費不正支出分の返還請求を開始。

30(日)●和歌山県粉河町の小学一年の女児失踪事件で、同町の男性を逮捕し自宅冷蔵庫で遺体発見。

読売新聞社

AFP/PANA通信社

◀金大中、韓国新大統領に(12月18日)野党・国民会議を代表、経済の再生を掲げ、史上初の与野党政権交代を実現。45歳で大統領戦に挑んでから26年、拉致・死刑判決・亡命など、死線を越えてつかんだ栄光だった。

▲ロシア軍輸送機、住宅街に墜落(12月6日)シベリアのイルクーツクを離陸直後に落ちて炎上。乗員23人を含む死者66人、行方不明20人。エンジン故障が原因。

共同通信社

◀比嘉名護市長、海上基地受け入れ(12月24日)半数の住民が反対する中、沖縄の米軍普天間飛行場返還の代替案に「現実的」選択。「郷土の捨て石に」と辞職した。

▼アクアライン開通(12月18日)川崎と千葉・木更津を、世界最長の自動車用海底トンネルと橋で結ぶ、東京湾横断道路が完成。バブル期に着工した「夢」の実現だった。

▼53年ぶり「対馬丸」発見(12月12日)船名を海洋科学技術センターのカメラが、鹿児島沖で撮影。昭和19年、児童738人含む1500人を乗せ、那覇から長崎への疎開中、米潜水艦の魚雷で沈没した。

共同通信社

共同通信社

◀「ポケモン」見て、身体に異常(12月16日)人気アニメを見た全国の子どもたちに、痙攣などが続出。厚生省は、強烈な光の点滅に反応した「光感受性発作」と分析。制作のテレビ東京は、放映を翌年3月まで休止した。

時事通信社

平成9年12月

1(月)●地球温暖化防止京都会議、開幕(~11日)。
●流行語大賞に「失楽園」が選ばれる。

2(火)●閣議、対人地雷禁止条約への署名を決定。

3(水)●行政改革会議、現行の二二省庁を半減し、一府一二省庁に再編する最終報告を決定。

4(木)●神奈川県警、一月に倒産したココ山岡宝飾店を訪問販売法違反容疑で家宅捜索。

5(金)●本田が軽自動車を含む前月の販売台数で初めて日産を抜き二位に。

6(土)●北アルプスを貫き長野県と岐阜県を結ぶ安房トンネル開通。予備調査以来、三三年目。

7(日)●林野行政杜撰と総務庁が農水省に勧告を決定。

8(月)●日本野球連盟、プロ退団者の受け入れ決定。

9(火)●介護保険法、衆院本会議で可決・成立。

10(水)●神戸―山口間の山陽自動車道が全通。

11(木)●宇都宮の初の実名でのセクハラ訴訟、和解。

12(金)●宝塚に五番目の「宙」組、六五年ぶりの新設。

13(土)●銀行の企業への「貸し渋り」が目立つと新聞に。

14(日)●米国のフリーア美術館で「皇室名宝展」開催。国宝含む七六点の出品は初めて。

15(月)●科学技術庁、東海村動燃事故の最終報告。

16(火)●テレビアニメ「ポケモン」を見た全国の子ども五六〇人以上が身体に異常(18日、放送休止)。

17(水)●橋本首相、緊急記者会見で二兆円減税を発表。

18(木)●川崎―木更津間の「東京湾アクアライン」開通。
●韓国大統領選挙、金大中が当選。

19(金)●ペルーで早大生二人が行方不明と判明(27日、遺体発見、29日兵士一六人を送検)。

20(土)●映画監督の伊丹十三、東京で飛び降り自殺。

21(日)●名護市で住民投票、米軍海上ヘリポート建設反対が五三㌫(24日、市長は受け入れ表明)。

22(月)●金融機関の不良債権総額二八兆円と大蔵省。

23(火)●校内暴力、三二㌫増の約一万件で過去最高に。

24(水)●政府、与党総額一三兆円の公的資金投入を柱とする緊急金融システム安定策決定。

25(木)●文部省協力者会議、部活の行き過ぎを批判し、週一、二度の休養日設定を提言。

26(金)●吉本興業、ドナーカード持参者の割引を発表。

27(土)●新進党、解党決定(29日までに六党に分裂)。

28(日)●米・ユナイテッド航空機、太平洋上空で乱気流に巻きこまれ一人死亡、一〇〇人以上が負傷。

29(月)●東証株価、一万四七七五円でこの年最安値。

30(火)●さくら銀行が海外拠点の半減を検討と新聞に。

31(水)●明石康が国連事務次長を退任。

我楽多市

◀12月1日、「失楽園」が流行語大賞に選ばれ、表彰式には原作者の渡辺淳一氏と映画で主演した黒木瞳さんが出席した。

共同通信社

流行語

小遣いが潤沢な独身OL層

「パラサイト（寄生）シングル」。親と同居しているが金は一銭も入れず、買い物や旅行に使うOLのこと。そういう層が増大、消費者として無視できなくなってきた言葉。

「団塊JJ」。団塊世代の子どもたち、すなわち団塊ジュニアがそろそろ結婚、出産の年齢になってきた。その団塊ジュニアのジュニアが消費市場に顔を出し始めるという意味で、この言葉が登場した。

「若年窓際族」。バブル時代に入社したが、仕事がないため、一日中所在ない様子で机についている若いサラリーマンのこと。おじさん窓際族は自分のおかれた立場を認識しているが、彼らにはその意識が欠落していることが特徴。

「バーチャハイ」。ゲームセンターで、バーチャル世界に没入するうち、画面の仮想キャラクターと一体化してハイになること。黙々とプレイしている若者に多いというので、広い意味では彼らをさす。

「生命彫り」。中高生が、好きな人の名前をカッターナイフで手や腕に彫ること。それを名前の当人にさわってもらうと、二人は結ばれるといって流行した。

ファッション

たためなくても安心 着物の保管業が盛況

東京・雑司ケ谷の呉服店が始めた「きものバンク」が、女性の人気を呼んでいる。

お客さんの着物を桐の引き出しに入れて預かり、湿度・温度を管理して、傷まないように保管する。着付けもするので、お客さんが着たい時には直接店に行くだけでいい。脱いだ後は、干してたたんで、しみ抜きなどのメンテナンスまで面倒を見る。

着物が三枚入る引き出しひとつの預かり賃が、一年ごとに五〇〇〇円。ずらりと並んだ棚には空きがなく、希望者も断っている状態である。お客さんの中心は四〇代、五〇代の女性だが、中には若い女性が「着物を着たかったけど、和室もなければ和ダンスもない。おまけにたたみ方も知らない。ここを知って、初めて着物を着ることができる」と言って借りている例もあるという。

（「暮しの手帖」一〇月号）

CM100年 テレビCF「ポテトチップス」（カルビー）

▲車座でポテトチップスをほおばる雪男たち。広告電通賞（テレビ食品部門）の優秀作品賞を受賞。

動物

ペンギンの"素肌"に日焼け止めクリーム

（ロンドン発）英・スコットランドのエディンバラ動物園で、ペンギンに日焼け止めクリームが塗られる事態となった。スコットランドではこれまでにない猛暑が続いたため、暑さ嫌いのペンギンの脱毛が止まらなくなった。このため、太陽光線からペンギンの"素肌"を少しでも保護してやろうと、このアイディアを思いついたという。

（「サンケイスポーツ」八月一五日）

◀尾田栄一郎画「ONE PIECE」の連載が「少年ジャンプ」八月四日号からスタート。海賊王をめざす少年のユーモア冒険談。

©尾田栄一郎／集英社

データ

トップは「チャンピオン」 少年マンガ誌の喫煙シーン

禁煙運動に取り組んでいるタバコ問題首都圏協議会が、少年マンガ雑誌に掲載された作品の喫煙シーン数を調査した。対象は三、四月に発売された週刊少年マンガ四誌の計三四冊、三六作品で、登場人物がタバコを吸っているシーンを数えたもの。

それによると、一冊当たりの喫煙シーンは「少年チャンピオン」が一九・四コマでトップ。続いて「少年マガジン」が一四・九コマ、「少年ジャンプ」が五・〇コマ、「少年サンデー」が四・〇コマの順だった。

これまでは登場する喫煙者が、不良役の男性など特定のキャラクターに限定されていたが、最近の世相を反映して、くわえタバコの女性も目立ったという。

（「中国新聞」六月二日）

▲東京都世田谷区二子玉川園のテーマパークでは、レンタル犬と散歩ができる。

読売新聞社

三面記事

ディズニーランドの怪談

日本で最も人気のある場所、東京ディズニーランドをめぐって、さまざまな噂が飛びかっている。その典型的なパターンのひとつは、「小学五年生の男児が両親とディズニーランドに出かけた。一人で別行動して一時間経っても待ち合わせの場所に来ないため、ディズニーランド側がゲートを閉めて捜してみると、男児は髪の毛を刈られて麻酔薬を注射され、ベビーカーで連れ出されようとしていた。犯人は日本人男性で、男児は臓器密売のターゲットにされたもの。ディズニーランド側は"最近よく起きている"とコメントした」というもの。女の子が茶髪に染められ、外人に連れ去られそうになったというパターンもある。

ディズニーランドを経営するオリエンタルランドによると、この種の噂は平成八年一月から春にかけて広がり、新聞社やテレビ局からも取材が来た。その後沈静化したが、ここへきて新聞社などに再び読者からの電話がかかるようになったらしいという。

この噂の背景については、「だから親の言うことを聞きなさい」という具合に、親が子を管理したがっていることの表れとする指摘もあった。

（「東京新聞」一月一三日）

地方

馬鹿かどうか診断書を……議場を飛び出した町長さん

（青森発）青森県金木町の町議会で、議員から「そんな馬鹿な話はないだろう」と野次られた町長さん（五九）が「馬鹿かどうか診断書をもらってくる」と言い残して、議場から飛び出していった。

この日、町議会では、町長さんに建設業者の団体から贈られたという二〇万円について質疑が行われたが、町長さんの答弁は二転、三転。議員の間からは「何を馬鹿なことを……」とか「そんな馬鹿な話は……」という声が再三上がった。それを聞いた町長さんは捨て台詞を残して議場を飛び出し、そのまま帰って来なかったという。

（「朝日新聞」九月三〇日）

お宝

初版カードは三万円 福田和子手配テレカ

松山市のホステス殺害事件は、時効二〇日前の劇的な逮捕で世間の注目をあびたが（九㌻参照）、愛媛県警が作製した福田和子被告（四九）の指名手配テレホンカードが人気を呼び、六年前の初版カードは収集家の間で二万〜三万円の高値がついている。殺人容疑では日本初の指名手配テレカというのが、高値の理由である。

六年間に四種類、計二万一九〇〇枚作られたが、福田被告の顔写真入りの図柄はいずれも同じ。このうち三種類は五〇度数で、今年七月に発行された最後のカードは、松山東署の専用電話だけに使えるフリーダイヤル用のものだった。

（「北国新聞」八月二〇日）

◀ゲレンデをスノーボーダーに開放するスキー場が、年々ふえている。二月二日、新潟県湯沢町で。

朝日新聞社

はやり歌

CAN YOU CELEBRATE?

作詞・作曲 小室哲哉

Can You celebrate?
Can You kiss me tonight?
We will love long long time
永遠ていう言葉なんて
知らなかったよね
(Can You celebrate?
Can You kiss me tonight?)
(We will love long long time)
二人きりだね
今夜からは少し照れるよね
La la la……
La la la……

▶「アムラー」という流行語まで生んだ、コギャルの教祖的存在、安室奈美恵の大ヒット曲。二月に発売された。

エイベックス提供

WHITE LOVE

作詞・作曲 伊秩弘将

果てしない あの雲の彼方へ
私をつれていって
その手を離さないでね
真冬の星座から 舞いおちた白い恋
胸の奥に 降りつもる
心に染みて 涙になる
仲間とは違う
サインで呼び合うたび
強くなれる
離れていても
いつだってひとつだよね
もっとちゃんと
いつも つかまえていて
電話がない夜は 強がってても
ホントはね I miss you……

▲SPEEDが歌ったラブソングで、資生堂のCMに起用された。SPEEDは、安室奈美恵と同じ芸能学校「沖縄アクターズスクール」出身の人気4人組。

TOY'S FACTORY 提供

▶技術革新による新商品発売で、古い型の携帯電話は回収され、倉庫に山積み。

読売新聞社

この年の初もの

お笑いの専門雑誌「アジャパー」創刊

●**シニアタウン** 福岡県甘木市にわが国初の本格的なシニアタウン「美奈宜の杜」がオープン。

●**歴史検定試験** 七月、全国一三都市で実施され、一三歳から九七歳までの約四〇〇〇人が受験。

●**高齢者マーク** 七五歳以上のドライバーを対象にしたもので、一〇月三〇日から登場。

●**飲む毛生え薬** 米食品医薬品局が、メルク社の「プロペシア」の販売を許可。

世界の動き

大英帝国が交渉で"完敗"した歴史的瞬間　「一国両制」が共産主義中国に何をもたらすか

香港、一五五年ぶりに返還！

▲7月1日、ユニオンジャックが五星紅旗に替わる中、香港の祖国復帰を祝い、盛大に花火が打ち上げられた。　朝日新聞社

一九九七年七月一日、豪雨が香港を襲う中、世紀の返還式典が挙行された。中国の江沢民国家主席は、香港人による香港統治を宣言、イギリスは香港を去った。それは中国にとっては、侵略の屈辱に終止符を打つことであり、「一国両制」という壮大な実験の幕開きでもあった。

式典に四〇〇〇〇人が参列　会場の外は民主派のデモ

「私は六月三〇日の夕方から一〇時間にわたり中国や香港、欧米の映像を見ながら、NHKの衛星放送の解説をしていましたが、イギリスにとっては栄光の一部が失われていくという、なんとも悲しいニュアンスが強かった。しかし、私はこれから、欧米に蹂躙（じゅうりん）されないアジア人によるアジアの歴史の、新しい一ページが始まるという実感を強く抱きました」

こう語るのは、政治学博士で東洋学園大学教授の朱建栄（しゅけんえい）氏だ。

一九九七年七月一日午前零時（日本時間同日午前一時）、アヘン戦争（一八四〇～一八四二年）によって奪われた香港が一五五年ぶりに中国へ返還された。

その日、半世紀ぶりという豪雨に見舞われる中、返還式典会場となった香港島・湾仔（ワンチャイ）の新コンベンションセンターには、中国の江沢民（こうたくみん）国家主席（七〇）、そして、中国の全国政治協商会議委員をつとめる一方で、香港行政評議員にも就任、中英両国と友好的関係にあった香港特別行政区の董建華（とうけんか）初代行政長官（六〇）、イギリスからはチャールズ皇太子（四八）、ブレア首相（四四）、パッテン総督（五三）ら四〇ヵ国、四〇〇〇人が参列し、この歴史的瞬間を見守った。

式典は六月三〇日午後一一時三〇分に始まった。まゆを寄せながら淡々と語るチャールズ皇太子の演説内容は、イギリスの栄光をできるだけとどめておこうとする悲哀をも含んでいた。

「英国は、香港の人々への責任をはたし、彼らに大きな成功の機会を与えたことを誇りに思う」

式典最中の七月一日午前零時、会場に中国国歌が響き渡り、中国国旗と香港特別行政区旗が掲げられた瞬間、香港は中国香港特別行政区へと名称を変えた。

江沢民国家主席の演説が始まる。

「中国政府は香港に対する主権を回復した。これは中国にとって大きな事業であり、世界の正義事業の勝利でもある」

声は上ずりながらも、未来に対する確信に満ちた江主席の挨拶は、チャールズ皇太子とはあまりにも対照的であった。

式典は、わずか四五分間で幕を閉じた。式典が終わるやいなや、香港最後の総督・パッテンは、長居は無用とばかりに、チャールズ皇太子とともに会場に隣接する駐留英軍総司令部岸壁から、英王室所有の「ブリタニア号」に乗りこみ、ロンドンにあてて最後の公電を打つ。

「私は香港政庁を廃絶した。神よ、女王を守り給え」

イギリスの植民地時代が終わりを告げた瞬間、香港の街には車のクラクションが鳴り響き、人々は声を張り上げ路上に飛び出した。また、北京の天安門広場に集まる一〇万人の市民から上がっていた"カウントダウン"の声は、返還の瞬間「ワーッ」という大きな歓声へと変わり、花火や踊りで祝賀ムードは頂点に達した。

しかし一方で、民主派グループは、式典会場の周辺で「江沢民はやめろ」とデモ行進を繰り返し、七月一日で効力を失った香港の議会・立法評議会の民主派議員ら約三〇〇〇人は、議会前で集会を開き、バルコニーに立った香港民主党の李柱銘（ちゅうめい）主席は「アイ　シャル　リターン」という言葉を繰り返していた。

◀6月30日、官邸を去るパッテン総督。7月1日の返還式典に出席した"最後の総督"は、式典終了後「ブリタニア号」船上から手を振り、任地に別れを告げた。　AP／WWP

▶午前零時、香港島の繁華街・銅鑼湾で返還の瞬間を迎え、歓声を上げる人々。　朝日新聞社

正式調印にいたるまで　中国側が主導権を握る

香港返還への道程は険しかった。一九八二年九月、当時イギリスの首相だったサッチャーが北京を訪れた時には、イギリスは香港をそのまま中国に返還するこ

となど念頭になく、主権はやむをえないにしても、行政上の管理権はあくまで残すことを主張した。

一方中国側は、不平等条約の無効を訴え、全面完全返還の姿勢を崩さなかった。交渉は暗礁に乗り上げるように見えたが、中国側は賢明だった。「一国両制」という斬新なアイディアを提案したのだ。それは、主権が中国に返還されても、その後の五〇年間にわたり、香港には共産主義制度を持ちこまず、現行資本主義体制をそのまま維持するという提案だった。

こうして一九八四年一二月、イギリス側も譲歩し、中英共同宣言の正式調印にいたったが、その後にも難関が待ちかまえていた。あくまで返還後も影響力を残したいイギリスは、共同宣言にはもりこまなかった選挙制度に関して、六〇議席中二〇議席を普通選挙にし、民主派勢力の取りこみをはかったのだ。その結果、一九九五年の選挙では、二〇人中一九人まで民主派が占めることになる。

中国も黙ってはいなかった。協定違反をしたのはイギリスであり、この選挙で当選した評議会議員の資格は、返還が実現する一九九七年七月一日以降は認めることができないとイギリスに反駁する。そして香港特別行政区の行政長官に董建華を選び、臨時立法会を成立させて中国側が推薦する議員で返還後の一年を乗り切ることにした。

陸続きの中国に対し、一九八二年のフォークランド紛争でアルゼンチン軍を制圧したように、軍隊を派遣することなど、イギリスにはできなかった。まさに「東風が西風を圧する」ままに、返還当日を迎えたのである。

そしてアジアの金融危機が叫ばれる中、中国政府は人民元と異なり米ドルにペッグ（クギづけ）され金の卵を生む香港ドルを守ることで、一国両制を維持し、中国国内の経済改革を押し進めている。

「返還交渉は大英帝国の完全な敗北でした。これまでイギリスは、植民地からこれだけ面目をつぶされたことはなかったはずです。多少強引だったとはいえ、返還は全体としてうまくいった。返還後の九八年の選挙でも民主派が一九人当選しています。『一国両制』のもと、中国は民主主義や自由の概念を学びながら、みずからを変えていく姿勢を見せている。これからも、香港は中国国内をも変革していく原動力になっていくと思います」

こう語るのは、香港ウオッチャーとして知られる産能大学教授の戸張東夫氏だ。

◀六月三〇日の夕食会で、チャールズ皇太子を出迎えた江沢民国家主席。

ロイター＝サンテレフォト

外から見たNIPPON

翻訳家・アーシーの目に映った日本語のタブーと乱用

――佐伯 修

「私の国カナダのほとんどの都会へ行っても、第一・二次世界大戦の戦没者を悼む『戦争記念碑』が建つ。数年前シンガポールに旅行した際、日本の占領下で殺された市民を追悼する『ウォー・メモリアル・パーク』に立ち寄った。翻って日本。この種の施設は必ずと言ってもいいほど『平和』という字を冠する。広島の『平和記念公園』。長崎の『平和祈念像』。『戦争記念』なんて戦後日本の感覚からすると物騒な言い方だから『平和記念』や同音の『平和祈念』に落ち着いたのだろう。だが事実、例えば広島の『平和記念公園』は決して『平和』を記念するのではない。『戦争』という愚行の悲惨さを記念するのだ。『平和教育』も、本当は戦争のことを若い世代に教えるのを目指す」（『毎日新聞』五月二二日夕刊）

明治維新史を専攻し、山口大学の大学院に留学した翻訳家、イアン・アーシー（一九六二〜）が、『毎日新聞』夕刊文化面「月刊しみずよしのり新聞」に連載したコラム「イアンさんの日本語カルテ」の「忌み言葉『平和』」より。彼は、かつて伊勢神宮の神官たちが「僧」という言葉を「忌み言葉」として嫌い「髪長」と言い換えたのと同様、「平和」と言い換えられる「戦争」は「戦後日本の最も代表的な忌み言葉」かも知れないと述べ、さらに「『平和国家』と自称する日本。これも単なる忌み言葉に終わらなければいいのだが」とチクリ。

また、前年、平成八年に刊行された、政治家や官僚、企業広告などが用いる「妙な日本語」を解剖してみせた著書『政・官・財の国語塾』の「あとがき」で、彼は言う。

「『日本語の乱れ』が嘆かれて久しいが、指摘されるのは大体ラ抜きことばの類で、些細なものばかりだ。それより、日本と日本人を完全な支配下におさめている政・官・財による日本語の乱用のほうが遥かに目に余ると思われてきた」、ただし「こういうことばの乱用は日本語に限ったものではなく、むしろ現代文明共通の病ではないかという気がする」とも。

同書でアーシーが指摘するのは、たとえば官僚による「整備」の乱用ぶり。「『整備新幹線』と言ったら『建設』が遅々として進まない新・新幹線のことを指していますが、『海底ケーブルの整備』は明らかに海の底にケーブルを『敷く』ことですし、『史跡の整備』とはお寺やお城を『修復』することで、『農地の整備』は田畑を『作る』ことを意味します」。結局、「整備」について唯一確かなこと、「それは『整備』費は必ずあなたの血税で賄われていることです」。

▶日本語は、ほぼ独学でマスターしたという。

イアン・アーシー提供

往きて還らぬ

▲1月26日　藤沢周平(69)
小説家。昭和48年『暗殺の年輪』で直木賞受賞。市井ものの時代小説で人気を集めた。ほかに『蝉しぐれ』『市塵』など。

共同通信社

▲2月18日　岩井章(74)
労働運動家。昭和30年から15年間総評事務局長をつとめ、太田薫議長とのコンビで、総評の全盛期を築いた。

▲3月8日　池田満寿夫(63)
版画家、小説家。昭和35年、東京国際版画ビエンナーレ展で文部大臣賞、52年『エーゲ海に捧ぐ』で芥川賞を受賞。

▲3月10日　萬屋錦之介(64)
俳優。歌舞伎出身。中村錦之助の芸名で、東映の時代劇スターとして活躍。テレビでは、「子連れ狼」がヒット。

▲4月4日　杉村春子(91)
女優。昭和12年文学座創立に参加。以後同劇団を率い、「女の一生」などの名演で新劇を代表する女優となる。

▲5月3日　N・イエペス(69)
スペインのギター奏者。映画「禁じられた遊び」(1952年)の哀愁をおびたテーマ曲で、世界に知られた。

▲6月21日　勝新太郎(65)
俳優。「座頭市」シリーズで不動の人気を得たが、麻薬所持などトラブル・メーカーでもあった。中村玉緒は妻。

▲6月25日　J・Y・クストー(87)
仏の海洋探検家。海底を撮影した映画「沈黙の世界」を製作。積極的な環境保護運動家で、スキューバの発明者。

▲7月2日　J・スチュアート(89)
ハリウッド・スター。1940年「フィラデルフィア物語」でアカデミー主演男優賞受賞。代表作に「裏窓」など。

▶7月7日　奥むめお(101)
婦人運動家。昭和二三年「主婦連」創設。エプロンとしゃもじを旗印に〝台所の声を政治へ〟と訴えた。写真中央。

▲9月22日　横井庄一(82)
グアム島のジャングルに、28年間潜伏した元日本兵。昭和47年発見され帰国。一時期〝耐乏生活評論家〟として活動。

共同通信社

▲12月19日　井深大(89)
実業家。昭和21年盛田昭夫(現・ソニー名誉会長)と東京通信工業(ソニーの前身)創設、同社を世界的企業に育成。

▲12月24日　三船敏郎(77)
戦後日本が生んだ世界的映画スター。多くの黒澤明監督作品に主演、「羅生門」「七人の侍」「赤ひげ」などが代表作。

週刊YEAR BOOK 日録20世紀

第98号 2月2日(火)発売 毎週火曜日発売 講談社 定価560円 本体533円

1998［平成10年］

●特集
三八年ぶりの快挙に横浜が燃えた！ ベイスターズ、「日本一」に舞う／なぜ大蔵省は「自主廃業」を迫ったか 山一証券、最後の日！／「砒素カレー」「青酸ウーロン茶」続発！ 「毒物混入」魔の連鎖反応／新型ミサイルか人工衛星か 北朝鮮「テポドン1号」騒動の真相

●ニュース・ファイル
フォト＋日録で再現する365日…長野冬季五輪、開幕（2月7日）／新井将敬代議士、自殺（2月19日）／インドが二四年ぶり地下核実験（5月11日）／サッカーW杯仏大会開幕（6月10日）／金融監督庁、発足（6月22日）／クリントン米大統領、「不適切な関係」認める（8月17日）／奈良・室生寺五重塔、台風七号の強風で破損（9月22日）

●人物クローズアップ
中田英寿、イタリア・デビュー！

●決定的瞬間
マグワイア、「夢の七〇本塁打」実現！

●美の出会い
「モナ・リザ」になりきった森村泰昌

●女たちの肖像…白洲正子の“本物”を見抜く目／勝者・敗者…清水宏保、金メダルと世界新！／証言・あの日この日…浅利慶太、なかにし礼／「現場」を歩く…内幸町、長銀本店ビルの今後／20世紀博物館…地質標本館（茨城）／外から見たNIPPON…ジョイ・コガワの“二世の発想”

●ベストセラー…赤瀬川原平『老人力』／スターと名場面…大林宣彦監督「SADA」／モノ語り'98…「speax31」

日録20世紀専用バインダー

高級感あふれる特製バインダーを用意しました。「日録20世紀」を10冊ずつ年代順にバインダーにとじてそろえれば、「20世紀」ビジュアル百科のできあがり。10年ごとに分類するためのシールも添付しました。取りはずしは簡単で、整理にも便利、じょうぶな仕上がりです。あなたの書斎を飾るホーム・ライブラリーとして、永く保存してお楽しみください。バインダーは1部1300円（税別）。全国の書店でお求めください。

■既刊好評発売中（既刊97冊！ 1900・1910・1920・1930・1940・1950・1960・1970・1980年代がそろいました）

一九〇〇年代
第81号1901［明治34年］

一九一〇年代
第71号1911［明治44年］

一九二〇年代
第62号1921［大正10年］

一九三〇年代
第43号1931［昭和6年］

一九四〇年代
第19号1941［昭和16年］

一九五〇年代
第36号1951［昭和26年］

一九六〇年代
第12号1961［昭和36年］

一九七〇年代
第29号1971［昭和46年］

一九八〇年代
第53号1981［昭和56年］

一九九〇年代
第97号1997［平成9年］

第90号1910［明治43年］

第91号1991［平成3年］

第92号1992［平成4年］

第93号1993［平成5年］ 第94号1994［平成6年］ 第95号1995［平成7年］

最新刊
第96号1996［平成8年］

■今後の刊行予定
▶第99号1900［明治33年］2月9日発売
20世紀前夜●「パリ万博」、開幕！●「義和団事件」と日本軍の掠奪●「横浜居留地殺人事件」●鉄道唱歌、大ヒット！
▶第100号1868～99［明治元～32年］2月16日発売
明治という時代●「日清戦争」開戦！●浅草に高層ビル「凌雲閣」●“明治の花嫁” 花と光子●「大久保利通暗殺」とテロの系譜

「日録20世紀・スペシャル」刊行決定！

1999年2月23日（火）刊行開始（本編100号終了後すぐ）。全20巻！

スペシャル第1号 日中戦争全記録！

スペシャル第2号 太平洋の戦い！

スペシャル第3号 悲劇の島・沖縄！

1. 日中戦争全記録！ 幻のニュース写真[1]（2月23日発売）
2. 太平洋の戦い！ 幻のニュース写真[2]（3月2日発売）
3. 悲劇の島・沖縄！ 幻のニュース写真[3]（3月9日発売）
4. 天皇家の1世紀
5. 20世紀二都物語・東京と大阪
6. スクープ写真集！ 外国人が撮った「不思議の国NIPPON」
7. 20世紀災害史
8. ヒット商品「100年ブランド」
9. 20世紀「号外」集成
10. 20世紀「男と女の事件簿」
11. 秘話！ 日本選手、かく戦えり
12. 怪盗・怪事件ファイル
13. 20世紀の発見・発掘物語
14. 我らの「テレビ時代」
15. 20世紀「食」事始め
16. 失われた“国宝”
17. 懐かしのオモチャ・絵本・遊び
18. 革命の20世紀「消えた王朝・帝国」
19. 20世紀「ヒット曲」物語
20. 20世紀「ライバル」物語

バックナンバーは、お近くの書店でお求めください。創刊号のみ282円（税別）です。直接弊社にご注文の場合は、冊数に関係なく、送料200円のご負担となります。なお、代金と送料は先にお送りください。申込先 講談社読者サービス係 電話03-5395-3676

ミニ事典

1997年のキーワード

全額給与支払い型社員制度

退職金や福利厚生の給付をやめ、それに相当する金額を給与に繰り入れて支払う制度。一月、松下電器産業が翌年度からの導入を決定。退職金制度の将来的崩壊を踏まえ、会社の責任で運用してきた資金を、個々の社員の意思にまかせるもの。新制度は選択制で、従来型より月給が平均六、七万円高くなり、採用形態を変えることによる新しい人材確保も、導入理由のひとつだった。

ヘブンズ・ゲイト事件

AP／WWP

▲「我々の寺院」と呼んだ豪邸内の2段ベッドで発見された、信者の遺体。

米・カリフォルニア州サンディエゴで起きた、新興宗教団体、ヘブンズ・ゲイト（天国の門）集団自殺事件。三月二六日、教祖を含む男性一九人、女性二一人が睡眠薬を服用、ベッドに整然と並んで死んでいるのが発見された。教団は、三年前にインターネットで布教を始めた「電脳カルト」。三月のヘール・ボップ彗星の地球大接近は宇宙からの迎え、我々は旅だたねばならないなどと説いていた。

メニわんレンズ

白内障にかかった犬の視力補助用コンタクトレンズ。名古屋のレンズメーカーが、日本で初めて開発した。五月に発売。犬の八、九歳は人間の五〇歳前後にあたり、その三分の一が白内障で視力が低下する。開発されたコンタクトレンズは直径一センチ弱。犬の目の中に固定しなければならず、手術が必要で、片眼で約三〇万円、両眼で約四〇万円。ペットブームの頂点、と話題になった。

ライフサイエンス基本計画

総理大臣の諮問機関、科学技術会議・ライフサイエンス基本計画分科会（主査・永井克孝三菱化学生命科学研究所長）が、七月二八日に答申した、今後一〇年間のライフサイエンス研究の基本方針。生物の発生、脳、癌、生態系の四分野研究に重点的に資金を投入するもの。人間・社会・自然の調和を強調し、特にクローン技術の人間への応用を禁止した。

ネットワーク中断保険

金融・証券などで、コンピュータ・ネットワークに事故が生じた場合に備えて加入する保険。昭和五九年の電話ケーブル火災で、銀行などのネットワークが使えなくなった東京の事件を契機に、平成二年に損保会社が商品化。平成九年八月一日、東京証券取引所の株式売買システムが故障した際、証券会社数社が初めて保険金を請求して話題となった。

パパラッチ

有名人につきまとい、特ダネ写真をねらうカメラマン。原義はイタリア語で、ハエのようにぶんぶんうるさい虫のこと。八月三一日に事故死したダイアナ元英皇太子妃の事故原因が、パパラッチの追跡をまくためだったと報道され、非難のまととなった。また、高額な原稿料が問題になり、一緒に事故死した、ダイアナとエジプト出身の富豪・アルファイドのキス写真に、新聞社は約四八〇〇万円もの謝礼を払ったと言われる。

日本産マルハナバチ

蜜蜂の一種で、日本全国に分布する代表的在来種。体長約二センチ。六年前、温室栽培トマトの受粉用に、薬剤に代えて大量輸入した外来種・セイヨウオオマルハナバチが、繁殖力・攻撃性とも強く、在来種を次第に駆逐しだした。輸入元・トーメンなど三社は九月、共同で受粉用にマルハナバチの生産研究に乗り出すと発表。サクラソウなどは在来種に受粉を依存しており、その存亡の生態系に与える影響が危惧されていた。

日米新ガイドライン

新しい日米防衛協力のための指針。九月二三日、ニューヨークで双方の外務・防衛担当閣僚が出席、日米安全保障協議委員会を開催して策定。冷戦後の日米安保体制を、アジア太平洋地域の平和と安定の維持のための信頼性強化と再定義、日本周辺地域での有事への日本の対米支援を明確にした。しかし、適用地域をめぐって中国の反発は強く、また、憲法違反を指摘する声も強い。

プロミス・キーパーズ

よき夫・よき父になることを誓う男性キリスト教徒の運動。米・コロラド大のフットボール・チームを優勝に導いたコーチ、ビル・マッカートニー会長が創設。「米国の退廃は、家族の価値を軽視した男性たちがもたらした。今こそ目覚めなければならない」と主張。家庭崩壊の原因を男性に求めた。一〇月四日、ワシントンの全国集会に、五〇万人近い人人を集めた。

毎日新聞社

▲会議最終日の11日、会場の国立京都国際会館で、会議の成功に拍手が沸き起こった。

ハイブリッド自動車

ガソリンエンジンと電気モーターを組み合わせる方式で、モーターで発進、速度が上がるとガソリンエンジンで走る。地球温暖化防止がねらい。エンジン車に比べ燃費は二倍に向上、二酸化炭素の排出量は半減、窒素酸化物などの排出量も、規制値の一〇分の一に減少させた。略称HV車。一〇月一五日、トヨタ自動車が「プリウス」と名づけ、世界で初めての量産車として発表。価格は従来車より六〇万円高い二一五万円。

共同通信社

▲12月に発売された「プリウス」のエンジンルーム。

温暖化防止京都会議

京都で一二月一日から一一日にかけて開かれた、気候変動枠組み条約第三回締約国会議の通称。一六一ヵ国が参加。地球温暖化防止を徹底するため、先進国の温室効果ガス排出を、二〇一〇年までに平均五・二パーセント削減すること、などを内容とした「京都議定書」を採択、地球環境問題解決に歴史的、具体的一歩を印した。日本は当初削減二・五パーセントを提示、厳しい目標となった。

週刊YEAR BOOK／日録20世紀 1997

CONTENTS

●編集
講談社総合編集局
アート・ディレクター 山口至剛
表紙デザイン 山口至剛デザイン室（茂村巨利）＋渡邉裕
本文レイアウト デザインオフィス八起き
編集協力 有エービーシーフレス 株カマル社 株コミュニケーション ハウス・ケースリー シド・プロ 有マックス 有マライカ
飯田守 小原伸夫 鍵和田良輔 菊地美優貴 小松邦宏 張替政展
藤森雅弘 森邦久 結城順一 吉田忠正

●写真協力
朝井豊 イアン・アーシー 尾田栄一郎 但馬一憲 藤沢とおる
山口隆司 吉尾健児
「アエラ」 朝日新聞社 RMNイメージアーカイブ AFP
共同通信社 サンテレフォト 時事通信社 集英社 新華社
スポーツニッポン新聞社 中央公論社 中国通信 日刊スポーツ
日本テレビ PANA通信社 フジテレビ FRIDAY 報知新聞社 毎日新聞社 ユニフォト・プレス 読売新聞社 ロイター
WWP
エイベックス オフィス北野 スタジオジブリ TOYS FACTORY 東宝 馬力・TNDG バンダイ バンダイビジュアル WOWOW
宝くじドリーム館 NASA

雑誌 23712 2/9 Ⓛ 2001 1 1 T1123712020568

印刷 凸版印刷株式会社 製本 大村製本株式会社